

2024年度 学習支援計画書

# 2024年度 学習支援計画書

## アパレルプロフェッショナル科1年 開講年次表

	授業科目	授業形態	単位数		開講時期		page
			必修	選択	前学期	後学期	
必修 科目	クリエイションワーク1	実習	1		○		40
	クリエイションワーク2	実習	1		○		41
	クリエイションワーク3	実習	1			○	42
	パターンメイキング1	実習	1		○		43
	パターンメイキング2	実習	1		○		44
	パターンメイキング3	実習	1		○		45
	パターンメイキング4	実習	2			○	46
	パターンメイキング5	実習	2			○	47
	アパレル技術1	実習	1		○		48
	アパレル技術2	実習	1		○		49
	アパレル技術3	実習	2		○		50
	アパレル技術4	実習	2			○	51
	アパレル技術5	実習	4			○	52
	立体裁断1	実習	1		○		53
	立体裁断2	実習	1			○	54
	デザイン画1	実習	1		○		55
	デザイン画2	実習	1		○		56
	スタイリングマップ1	講義・演習	2		○		57
	ファッションマテリアル1	講義・演習	2		○		58
	ファッションビジネス1	講義・演習	2		○		59,60
	ビジネスコミュニケーション	講義・演習	2			○	61
	コンピューターグラフィックス1	実習	1		○		62
	incubate collection	実習	1			○	63
	プレゼンテーション1	実習	1			通年	64
	コレクションセミナー1	講義・演習	1			通年	65
	マーケットリサーチ1	実習	1			通年	66
	イベントプロデュース1	実習	2			通年	67
	科選 目 択	リクルートガイダンス1	講義・演習		2		○
デザイン画3		実習		1		○	69
コンピューターグラフィックス2		実習		1		○	70
習特 科別 目実	コンテストコーチング	実習		1	○		71
	モデルウォーキング1	実習		1		○	72
	キャンパスサポート1	実習		1		通年	73
1年次履修時間・単位 1065時間以上・40単位以上取得							
(必修科目 1035時間・39単位取得 選択科目 30時間以上・1単位以上取得)							
※受講生を選考して実施する特別演習科目で取得した時間数・単位数は選択科目の時間数・単位数に読替えることができる							
進級要件履修時間・単位 1065時間以上・40単位以上取得							

## 2024年度 学習支援計画書

### アパレルプロフェッショナル科2年 開講年次表

	授業科目	授業形態	単位数	前学期	後学期	page
必修科目	デザインクリエイション1	実習	1	○		74
	デザインクリエイション2	実習	1	○		75
	デザインクリエイション3	実習	1		○	76
	クリエイションパターン1	実習	2	○		77
	クリエイションパターン2	実習	2		○	78
	クリエイションパターン3	実習	1		○	79
	モデリング1	実習	3	○		80
	モデリング2	実習	3		○	81
	モデリング3	実習	2		○	82
	立体裁断3	実習	1	○		83
	CAD1	実習	1	○		84
	CAD2	実習	1		○	85
	パターン・テクニク1	実習	1	○		86
	ファッションマテリアル2	講義	1	○		87
	リクルートガイダンス2	講義・演習	1	○		88
	incubate collection	実習	1		○	89
	プレゼンテーション2	実習	1		通年	90
	コレクションセミナー2	講義・演習	1		通年	91
	マーケットリサーチ2	実習	1		通年	92
	イベントプロデュース2	実習	2		通年	93
選択科目1	パターン・テクニク2	実習	1		○	94
	CAD3	実習	1		○	95
	立体裁断4	実習	1		○	96
	帽子製作	実習	1	○		97
	インターンシップ	実習	2		通年	98
特別目実習	コンテストコーチング	講義	1	○		99
	モデルウォーキング2	実習	1		○	100
	キャンパスサポート2	実習	1		通年	101
	コレクションスタッフ	実習	1		○	102
2年次履修時間・単位 870時間以上・31単位以上取得						
必修科目810時間以上・29単位取得 選択科目60時間以上・2単位以上取得						
※受講生を選考して実施する特別実習科目で取得した時間数・単位数は選択科目の時間数・単位数に読替えることが出来る						
卒業要件履修時間・単位 1935時間以上・71単位以上取得						

2024 年度 学習支援計画書

ファッションスタイリング科1年 開講年次表

	授業科目	授業形態	単位数		開講時期		page	
			必修	選択	前学期	後学期		
必修科目	スタイリング1	実習	4		○		103	
	スタイリング2	実習	4		○		104	
	スタイリング3	実習	4			○	105	
	ビジネスコミュニケーション	講義・演習	2			○	61	
	ファッションビジネス1	講義・演習	2		○		59	
	ファッションコーディネート1	講義・演習	2		○		106	
	スタイリングマップ1	講義・演習	2		○		57	
	デザイン画1	実習	1		○		55	
	デザイン画2	実習	1			○	56	
	ファッションマテリアル1	講義・演習	2		○		58	
	アパレル技術1	実習	1		○		107	
	パターンメイキング1	実習	1		○		108	
	コンピューターグラフィックス1	実習	1		○		62	
	ビジネスマナー	講義・演習	2			○	109	
	incubate collection	実習	1			○	63	
	プレゼンテーション1	実習	1		通	年	64	
	マーケットリサーチ1	実習	1		通	年	66	
	コレクションセミナー1	講義・演習	1		通	年	65	
	イベントプロデュース1	実習	2		通	年	67	
選択科目	選択必修科目	ヘアメイク1 *1	実習		1	○		110
		スタイリストトレーニング1 *1	講義・演習		2		○	111
		ファッションビジネス2 *2	講義・演習		2		○	112
		ショップマネジメント1 *2	実習		1	○		113
		ファッションリテール *2	実習		1		○	114
		リクルートガイダンス1 *2	講義・演習		2		○	68
	自由科目	コンピューターグラフィックス2	実習		1		○	70
		販売士2級検定対策	講義・演習		2	○		115
		英会話	講義・演習		1		○	116
特別実習	コンテストコーチング	実習		1	○		71	
	モデルウォーキング1	実習		1		○	72	
	ヘアメイクスタッフ1	実習		1		○	117	
	キャンパスサポート1	実習		1	通	年	73	
1年次履修時間・単位 975時間以上・39単位以上取得								
必修科目 855時間・35単位 選択科目 120時間以上・4単位以上 取得								
※コース別選択必修科目は必ずどちらかのコースを選び受講すること								
*1 スタイリストコース選択必修 *2 アドバイザーコース選択必修								
※受講生を選考して実施する特別演習科目で取得した時間数・単位数は選択科目の時間数・単位数に読替えることができる								
進級要件履修時間・単位 975時間以上・39単位以上取得								

※コース別選択必修科目：希望があれば選択コース以外の科目の受講も可能です。

例：スタイリストコース選択 ファッションビジネス2の受講可能

2024年度 学習支援計画書

ファッションスタイリング科2年 開講年次表

		授業科目	授業形態	単位数	前学期	後学期	page
必修科目		スタイリストワーク1	実習	4	○		118
		スタイリストワーク2	実習	4		○	119
		スタイリストワーク3	実習	4		○	120
		ファッションコーディネート2	講義	2		○	121
		incubate collection	実習	1		○	89
		プレゼンテーション2	実習	1	通年		90
		マーケットリサーチ2	実習	1	通年		92
		コレクションセミナー2	実習	1	通年		91
		イベントプロデュース2	実習	3	通年		93
選択科目	コース別選択必修科目	スタイリングマップ2 *1	講義	2	○		122
		フォーマルスペシャリスト *1	講義	2		○	123
		ヘアメイク2 *1	実習	1	○		124
		スタジオワーク *1	実習	1		○	125
		ファッションビジネス3 *2	講義	2	○		126
		ファッションマーケティング *2	講義	2		○	127
		ショップマネジメント2 *2	実習	3	○		128
		リクルートガイダンス2 *2	講義	1	○		88
		ビジュアルマーチャンダイジング *2	実習	3	○		129
	択自由科目選	スタイリストトレーニング2	実習	2	通年		130
		アパレルインターンシップ	実習	2	通年		131
帽子製作		実習	1	○		97	
習特別科実	コンテストコーチング	実習	1	○		99	
	モデルウォーキング2	実習	1		○	100	
	ヘアメイクスタッフ2	実習	1		○	132	
	コレクションスタッフ	実習	1			102	
	キャンパスサポート2	実習	1	通年		101	
2年次履修時間・単位 825時間以上・30単位以上取得							
必修科目 585時間以上・21単位 選択科目 240時間以上 9単位以上取得							
※コース別選択必修科目は1年次のコースを継続し受講すること							
*1 スタイリストコース選択必修 *2 アドバイザーコース選択必修							
※受講生を選考して実施する特別実習科目で取得した時間数・単位数は選択科目の時間数・単位数に読替えることが出来る							
卒業要件履修時間・単位 1800時間以上・69単位以上取得							
※コース別選択必修科目：希望があれば選択コース以外の科目の受講も可能です。							

【アパレルプロフェッショナル科 1年】

クリエーションワーク 1	44
クリエーションワーク 2	
クリエーションワーク 3	
パターンメイキング 1	47
パターンメイキング 2	
パターンメイキング 3	
パターンメイキング 4	
パターンメイキング 5	
アパレル技術 1	52
アパレル技術 2	
アパレル技術 3	
アパレル技術 4	
アパレル技術 5	
立体裁断 1	57
立体裁断 2	
デザイン画 1	59
デザイン画 2	
ファッションマテリアル 1	61
ファッションビジネス 1	62
ビジネスコミュニケーション	63
コンピューターグラフィックス 1	64
リクルートガイダンス 1	65
デザイン画 3	66
スタイリングマップ	67
コンピューターグラフィックス 2	68

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
クリエイションワーク1		松山 由未	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	担当講師は素材メーカーでのデザイン業務の経験と衣装製作の実務経験を生かし、デザイン発想からポートフォリオ作成まで指導していく。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	1
授業概要			
様々な事物をテーマにイメージボードを作成し、デザイン考案を行う。			
学習到達目標			
洋服のディテールを学びながら、個々の世界観を伝えるための発想力、表現力を養う。			
教科書及び教材			
筆記用具、文房具、着彩道具、画材に適した紙、テーマに沿った参考資料・文献を事前に準備			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	オリエンテーション	授業進行と課題内容、評価基準、資料収集と活用、運用の方法とマナー、テーマとコンセプト	
2	Detail-1		
3	Detail-2		
4	Detail-3		
5	Art-1	芸術-1 東洋美術	
6	Military uniform	軍服	
7	Hommage	オマージュ	
8	Hommage	オマージュ	
成績評価の目安と方法			
受講姿勢、テーマの調査・研究、提出物の完成度を評価内容とする。 受講回数が2/3未満もしくは理解不足と考えられる場合、評価対象外、再履修とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	テーマの調査・研究を積極的に行い、完成度の高い課題を完成させた。効果的な表現がなされている。		
B	テーマの調査・研究を元に課題を完成させた。工夫と努力が見受けられる。		
C	テーマを元に課題を提出したが、未熟な点がある。		
D	課題の未提出及び不備、受講状況に問題がある。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
クリエイションワーク2		松山 由未	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	担当講師は素材メーカーでのデザイン業務の経験と衣装製作の実務経験を生かし、デザイン発想からポートフォリオ作成まで指導していく。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	1
授業概要			
様々な事物をテーマにイメージボードを作成し、デザイン考案を行う。			
学習到達目標			
発想力と着眼点の幅を広げ、個々の世界観を伝えるための表現力を習得する。			
教科書及び教材			
筆記用具、文房具、着彩道具、画材に適した紙、テーマに沿った参考資料・文献を事前に準備			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	オリエンテーション	授業進行と課題内容、評価基準、資料収集と活用、運用の方法とマナー、テーマとコンセプト	
2	Art2	芸術-2 西洋美術	
3	Architecture	建築	
4	Architecture	建築	
5	Formal Wear	フォーマルウェア	
6	Folk costume	民族衣装	
7	Inspire	触発	
8	Inspire	触発	
成績評価の目安と方法			
受講姿勢、テーマの調査・研究、提出物の完成度を評価内容とする。 受講回数が2/3未満もしくは理解不足と考えられる場合、評価対象外、再履修とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	テーマの調査・研究を積極的に行い、完成度の高い課題を完成させた。効果的な表現がなされている。		
B	テーマの調査・研究を元に課題を完成させた。工夫と努力が見受けられる。		
C	テーマを元に課題を提出したが、未熟な点がある。		
D	課題の未提出及び不備、受講状況に問題がある。		



2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
クリエイションワーク3		アパレル企業	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	担当教員はアパレルメーカー企画職の経験を生かし、商品からコレクション作品まで実用的なファッション提案のノウハウを指導する。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	1
授業概要			
クリエイション12(基礎編)を通して応用編として最終課題製作です。自分が表現したいデザインを考えだし、資料の収集・デザイン展開・構成を整理してプレゼンボードを制作します。			
学習到達目標			
一年間のクリエイション授業(創造・創作練習)を通して自己の物作りに必要な物とは何かを理解し、製作に対しての時間の経過、物へのこだわりとは何かを学んで下さい。			
教科書及び教材			
A4サイズコピー用紙・ハサミ・カッター・のり・着彩道具(マーカー・色鉛筆・パステル等)+ファッション雑誌等、自己の作品制作に必要と思われる道具・資料一式			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	クリエイションワーク応用編	トータルデザインプロジェクト・テーマ設定の構築	
2	クリエイションワーク応用編	トータルデザインプロジェクト・制作進行 個別相談	
3	クリエイションワーク応用編	トータルデザインプロジェクト・制作進行 個別相談	
4	クリエイションワーク応用編	トータルデザインプロジェクト・制作進行 個別相談	
5	クリエイションワーク応用編	トータルデザインプロジェクト・制作進行 個別相談	
6	クリエイションワーク応用編	トータルデザインプロジェクト・制作進行 個別相談	
7	クリエイションワーク応用編	ポートフォリオ講義・練習	
8	クリエイションワーク応用編	トータルデザインプロジェクト・制作発表	
成績評価の目安と方法			
1各時間の製作への取り組み、2自己の表現に必要な資料収集、3プレゼンテーションに於いての自己の製作に対する表現方法・デザインポイントなどが整理・説明に加えられているかが評価ポイントになります。製作提出の期限の厳守。			
評価	成績評価別の到達度		
A	課題提出に期限内の提出・課題提出に対する理解度・発表内容の整理と内容の深さ。		
B	課題製作への取り組み・理解度・発表内容が理解出来ている。		
C	課題製作への取り組み・理解度・発表内容が一部出来ている。		
D	課題の未提出・発表の不参加。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
パターンメイキング1		室谷 浩子	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	担当講師はアパレルメーカーでのパタンナー職の業務経験を生かし基礎となるパターン知識とアイテムごとのパターンメイキング方法を指導する。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	1
授業概要			
スカート原型の製図法とデザインスカートの展開方法を学ぶ。			
学習到達目標			
『スカート』の種類と基本的な展開方法を理解する。			
教科書及び教材			
ノート・A4ファイル・50cm・30cm方眼定規・縮尺定規・カーブルーラー・プッシュピン・カッター・メンディングテープ・メジャー・0.3シャープペンシル・色ペン(2~3色)・筆記用具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	パターン概論	ファッションの定義・既製服と注文服・パタンナーの役割・用具の説明	
2	製図練習・スカート原型	直線(平行と垂直)・曲線練習・体型・サイズについて・ラインポイントの名称・原型について	
3	スカート原型	スカート原型(1/2)の製図・採寸について	
4	スカート原型	スカート原型(原寸)の製図・トワル裁断・組立て・トワルチェック	
5	デザインスカートの展開	スカートの歴史と種類・セミタイト・Aライン(1/2)の展開	
6	デザインスカートの展開	フレアー・ギャザー・ギャザーフレアー・ゴアード(1/2)の展開	
7	デザインスカートの展開	プリーツの種類・プリーツ・ペグトップ(1/2)の展開	
8	デザインスカートの展開	ヨーク切替(1/2)の展開・筆記テスト	
成績評価の目安と方法			
課題提出状況・ノートまとめ・筆記テスト			
評価	成績評価別の到達度		
A	スカートの種類と展開方法を良く理解し、的確に表現できる。		
B	スカートの種類と展開方法を理解し、表現できる。		
C	スカートの種類と展開方法いくつかは理解し、表現できる。		
D	スカートの種類と展開方法の理解が不足している。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
パターンメイキング2		室谷 浩子	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	担当講師はアパレルメーカーでのパタンナー職の業務経験を生かし基礎となるパターン知識とアイテムごとのパターンメイキング方法を指導する。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	1
授業概要			
トルソー原型の考え方とブラウスの見頃展開方法・衿・袖の考え方と展開方法を学ぶ。			
学習到達目標			
『ブラウス』の原型を理解し、基本的な展開が出来る。			
教科書及び教材			
ノート・A4ファイル・50cm・30cm方眼定規・縮尺定規・カーブルーラー・プッシュピン・コンパス・カッター・メンディングテープ・メジャー・0.3シャープペンシル・色ペン(2~3色)・筆記用具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	トルソー原型	トルソー原型の考え方・トルソー原型(1/2)(原寸)の製図	
2	トルソー原型	トルソー原型(原寸)の製図	
3	トルソー原型	トワル裁断・トワル組み立て・トワルチェック	
4	ダーツ処理	ウエスト原型(1/2)の製図・ダーツ処理(移動と分散)	
5	ブラウスの身頃展開	ストレートブラウス原型(1/2)の製図ストレートシルエットブラウス(1/2)の展開	
6	ブラウスの身頃展開	ソフトシェイプシルエットブラウス(1/2)の展開	
7	袖原型	袖の考え方・袖の目(AH図法)の引き方・一枚袖(1/2)の製図	
8	衿の製図	シャツカラー・台衿付きシャツカラー・フラットカラー・筆記テスト	
成績評価の目安と方法			
課題提出状況・ノートまとめ・筆記テスト			
評価	成績評価別の到達度		
A	ブラウスのシルエット・袖・衿の構造を良く理解し、的確に表現できる。		
B	ブラウスのシルエット・袖・衿の構造を理解し、表現できる。		
C	ブラウスのシルエット・袖・衿の構造がある程度理解できている。		
D	ブラウスのシルエット・袖・衿の構造の理解が不足している。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
パターンメイキング3		室谷 浩子	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	担当講師はアパレルメーカーでのパタンナー職の業務経験を生かし基礎となるパターン知識とアイテムごとのパターンメイキング方法を指導する。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	1
授業概要			
パンツ原型の考え方と展開方法・デザインブラウス（見頃・衿・袖）の展開を学ぶ。			
学習到達目標			
『パンツ』原型を理解し、基本的な展開ができる。『ブラウス』のデザイン展開を理解する。			
教科書及び教材			
ノート・A4ファイル・50cm・30cm方眼定規・縮尺定規・カーブルーラー・プッシュピン・コンパス・カッター・メンディングテープ・メジャー・0.3シャープペンシル・色ペン(2~3色)・筆記用具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ブラウスの見頃展開	ギャザーブラウス(1/2)の展開	
2	ブラウスの見頃展開	フレアブラウス(1/2)の展開	
3	袖の展開	タイトスリーブ(1/2)・パフスリーブ(1/2)・シャツスリーブ(1/2)	
4	衿の製図	セーラーカラー・オープンカラー	
5	パンツ原型	バランスパンツ原型(1/2)製図	
6	デザインパンツの展開	ツータックパンツ(1/4)展開	
7	デザインパンツの展開	スリムパンツ(1/4)・ベルボトム(1/4)の展開・カーブベルト・パーツパターン	
8	デザインパンツの展開	ワイドパンツ(1/4)の展開・パーツパターン・筆記テスト	
成績評価の目安と方法			
課題提出状況・ノートまとめ・筆記テスト			
評価	成績評価別の到達度		
A	ブラウスのデザイン別展開方法・パンツの種類と展開方法を良く理解し的確に表現できる。		
B	ブラウスのデザイン別展開方法・パンツの種類と展開方法を理解し表現できる。		
C	ブラウスのデザイン別展開方法・パンツの種類と展開方法をある程度理解できている。		
D	ブラウスのデザイン別展開方法・パンツの種類と展開方法の理解が不足している。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
パターンメイキング4		室谷 浩子	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	担当講師はアパレルメーカーでのパタンナー職の業務経験を生かし基礎となるパターン知識とアイテムごとのパターンメイキング方法を指導する。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	2
授業概要			
プリンセスワンピースの展開方法を学ぶ。ジャケットのゆとりの考え方、テーラードジャケットのディテールの理解・裏地などの展開方法を学ぶ。			
学習到達目標			
『プリンセスワンピース』の展開ができる。『テーラードジャケット』を理解して、正しく製図ができる。			
教科書及び教材			
ノート・A4ファイル・50cm・30cm方眼定規・縮尺定規・カーブルーラー・プッシュピン・コンパス・カッター・メンディングテープ・メジャー・0.3シャープペンシル・色ペン(2~3色)・筆記用具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	プリンセス原型	ドレス原型の種類と考え方・プリンセスドレス原型(1/2)の製図	
2	プリンセスワンピース	プリンセスワンピース(1/2)の製図・ノースリーブ、ノーカラーの考え方	
3	プリンセスワンピース	プリンセスワンピース、ローウェスト/ハイウェスト切替	
4	応用デザインワンピース	応用デザインワンピース(1/2)の製図?トワル裁断	
5	応用デザインワンピース	応用デザインワンピース トワル組立て・トワルチェック	
6	ジャケット原型	4面構成(1/2)	
7	ジャケット原型	3面構成(1/2)	
8	ジャケット原型	袖製図(二枚袖)(1/2)	
9	ジャケット展開	表衿・見返しのパターン展開(1/2)	
10	ジャケット展開	裏地パターンの展開(1/2)	
11	二枚袖	ポケットのパターン(1/2)	
12	工業用パターン	書き込み・縫い代付け(1/2)・筆記テスト	
13	工業用パターン	ギャザーブラウスの展開(1/2)	
14	工業用パターン	Aラインブラウスの展開(1/2)	
15	工業用パターン	衿・袖(1/2)	
成績評価の目安と方法			
課題提出状況・ノートまとめ・筆記テスト			
評価	成績評価別の到達度		
A	ワンピースの展開方法・テーラードジャケットを良く理解し、正しく展開し的確に表現できる。		
B	ワンピースの展開方法・テーラードジャケットを理解し展開し表現できる。		
C	ワンピースの展開方法・テーラードジャケットを理解し展開できる。		
D	ワンピースの展開方法・テーラードジャケットの理解度が不足している。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
パターンメイキング5		室谷 浩子	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	担当講師はアパレルメーカーでのパタンナー職の業務経験を生かし基礎となるパターン知識とアイテムごとのパターンメイキング方法を指導する。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	2
授業概要			
『スカート』『ブラウス』の復習と応用デザインを練習する。			
学習到達目標			
パターンメイキングに関する基礎知識・基本技術を確実に習得する。			
教科書及び教材			
パターンメイキング技術検定3級ガイドブック・パターン用具一式・ノート・A4ファイル			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1-2	フラットパターンの基礎知識	スカートの平面製図(1/20)・サーキュラー・ティアード	
3-4	フラットパターンの基礎知識	スカートの展開(1/2)・プリーツ	
5-6	フラットパターンの基礎知識	スカートの展開(1/2)・ゴアード	
7-8	フラットパターンの基礎知識	スカートの展開(1/2)・ハイウエスト	
9-10	フラットパターンの基礎知識	スカートの展開(1/2)・ヨーク切替	
11-12	スカート応用	キュロットスカート(1/2)	
13-14	フラットパターンの基礎知識	ブラウスの展開(1/4)・フレンチスリーブ	
15-16	フラットパターンの基礎知識	ブラウスの展開(1/4)・シャツブラウス	
17-18	フラットパターンの基礎知識	ブラウスの展開(1/4)・ストレートブラウス	
19-20	フラットパターンの基礎知識	ブラウスの展開(1/4)・ギャザーブラウス	
21-22	フラットパターンの基礎知識	ブラウスの展開(1/4)・シャツ	
23-24	袖の応用	変形袖(ラグラン・キモノスリーブ)	
25-26	衿の応用	フード	
27-28	上物アイテム	ブルゾンまたはコート	
29-30	上物アイテム	ブルゾンまたはコート	
成績評価の目安と方法			
課題提出状況・ノートまとめ・筆記テスト			
評価	成績評価別の到達度		
A	スカートとブラウスのシルエット、構造を良く理解し的確に表現できる。		
B	スカートとブラウスのシルエット、構造を理解し表現できる。		
C	スカートとブラウスのシルエット、構造を理解している。		
D	スカートとブラウスのシルエット、構造の理解が不足している。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
アパレル技術1		箕輪 雅春	
実務経験	科目に関する実務内容		
—	—		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	1
授業概要			
生地地の直しの方法から、ミシン、ロックミシン、アイロンを用いて基礎的な縫製技術を学ぶ。			
学習到達目標			
基本的な縫製技術『手縫い』『ミシン縫い』『縫い代始末』などの部分縫いの習得。			
教科書及び教材			
アパレル技術縫製マニュアル・配布プリント・縫製道具一式・パターン用具一式			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	縫製道具の説明	使用教材道具の用途説明・シーチング地直しを学ぶ。	
2	基礎縫い《手縫い》	基本的な3種のしつけ・5種のまつり縫い・運針を学ぶ	
3	基礎縫い《ミシン1》	パターンカット・裁断・直線・角・カーブ縫いを学ぶ	
4	基礎縫い《ミシン2》	基本的な縫い代の始末(割り・片倒し・袋縫い)を学ぶ	
5	基礎縫い《ミシン3》	基本的な縫い代の始末(折り伏せ縫い・S時カーブ)	
6	基礎縫い《ミシン4》	縫い代の始末(三つ折り・完全三つ折り・ステッチ・手まつり)	
7	基礎縫い《ミシン5》	フラットニットファスナー付け・手まつり・前カン付け	
8	習得確認	実技	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得状況を提出物・実技テストで判定し、授業姿勢を加味して評価する。出席率60%以上を評価対象とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	提出物の仕上がり具合を基準に職業用ミシン・ロックミシン・アイロン操作技術・知識が習得出来ている。		
B	提出物の仕上がり具合を基準に職業用ミシン・ロックミシン・アイロン操作技術・知識がある程度習得出来ている。		
C	提出物の仕上がり具合を基準に職業用ミシン・ロックミシン・アイロン操作技術・知識が部分的に習得出来ている。		
D	提出物の仕上がり具合を基準に職業用ミシン・ロックミシン・アイロン操作技術・知識が習得の水準を満たしていない。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
アパレル技術2		箕輪 雅春	
実務経験	科目に関する実務内容		
—	—		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	1
授業概要			
基本アイテム『スカート』の縫製を学ぶ。綿素材に対する縫製の要点とインサイドベルト芯・ファスナー付けを学ぶ。『Tシャツ』では伸びる生地のカットと衿リブ部分の考え方を学ぶ。			
学習到達目標			
基本的なスカートの構造の理解。基本的なシルエットに対する生地の選び方。伸びる生地の縫製の要点。			
教科書及び教材			
アパレル技術縫製マニュアル・配布プリント・パターン用具一式・縫製道具一式・筆記用具・メモ帳			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	スカート製図・展開1	デザインに合わせた製図・展開を学ぶ。	
2	ファーストパターン・トワル組み立て	パターンチェック・合印しの入れ方・ミシン縫い・ピン組み立ての要点を学ぶ。	
3	スカート工業用パターン	工業用パターンに必要なパターン記号と縫い代のつけ方を学ぶ。	
4	スカートのカット・縫製	カットから完成までの工程と要点を学ぶ。	
5			
6			
7			
8	Tシャツ製作	衿リブ部分の伸び率を考慮してのパターン製作と縫製を学ぶ。	
成績評価の目安と方法			
スカートに関する縫製技術・知識の習得と授業姿勢を加味して総合的に評価する。出席率60%以上を評価対象とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	製作物の仕上がり・レポートのまとめが非常に良く出来ており期限内に提出する事が出来る。		
B	製作物の仕上がり・レポートのまとめが基準値に達しており期限内に提出する事が出来る。		
C	製作物の仕上がり・レポートのまとめ基準値を下回るが期限内に提出する事が出来る。		
D	製作物の仕上がり・レポートのまとめが基準値に達しておらず、期限内に提出が出来ない。		



2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
アパレル技術3		箕輪 雅春	
実務経験	科目に関する実務内容		
—	—		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	2
授業概要			
基本アイテム『ブラウス・パンツ』の縫製を学ぶ。薄地・中肉生地 of 効率の良い縫製手順を身につける。ブラウス製作条件:台衿シャツカラー・肩ヨーク・長袖・剣ボロあき・カフスの仕様 パンツ製作条件:ヨーク・前ファスナーあき・カーブベルト・ポケット・パッチポケット			
学習到達目標			
ブラウス・パンツの構造理解。効率の良い縫製手順を学ぶ。製作物・レポートの期限内提出を目指します。			
教科書及び教材			
アパレル技術縫製マニュアル・配布プリント・パターン用具一式・縫製道具一式・筆記用具・メモ帳			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ブラウス製作	・製作条件に沿ってデザインを入れた製図と展開方法を学ぶ。	
2		・ファーストパターンを修正し工業用パターン製作・裁断を学ぶ。	
3		・袖口あき3種の部分縫いを学ぶ。	
4		・前端的仕立て・ダーツの縫製方法・肩ヨークの縫製を学ぶ。	
5		・衿の縫製・衿付けの縫製を学ぶ。	
6		・袖口のあき製作とカフスつけの縫製を学ぶ。	
7		・袖付け・裾始末の縫製を学ぶ。	
8		・ボタンホール of 位置・ボタン付け・仕上げアイロンを学ぶ。	
9	パンツ製作	・パンツ原型からの展開・トワル組みまでを学ぶ。	
10		・工業用パターンを学ぶ。	
11		・裁断と印つけ(パッチポケット)などを学ぶ	
12		・縫い代 of 始末と脇ポケット・パッチポケット of 縫製を学ぶ	
13		・パンツ of 裁断・縫い代始末までを学ぶ。	
14		・前脇ポケット・パッチポケット・ファスナー付けを学ぶ。	
15		・ベルトループ・ベルト付け・仕上げまでを学ぶ。	
成績評価 of 目安と方法			
パンツ・ブラウスに関する縫製技術・知識 of 習得と授業姿勢を加味して総合的に評価する。出席率60%以上を評価対象とする。			
評価	成績評価別 of 到達度		
A	製作物 of 仕上がり・レポート of まとめが非常に良く出来ており期限内に提出する事が出来る。		
B	製作物 of 仕上がり・レポート of まとめが基準値に達しており期限内に提出する事が出来る。		
C	製作物 of 仕上がり・レポート of まとめ基準値を下回るが期限内に提出する事が出来る。		
D	製作物 of 仕上がり・レポート of まとめが基準値に達しておらず、期限内に提出が出来ていない。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
アパレル技術 4		箕輪 雅春	
実務経験	科目に関する実務内容		
—	—		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	2
授業概要			
基本アイテムワンピースと応用アイテムオリジナルブラウスを学ぶ。			
学習到達目標			
ワンピースでは薄く滑る素材の扱いの習得。オリジナルブラウスでは各々のデザインに合わせた縫製に合わせ、縫製工程を製作しスケジュールを組み立て製作を進め、期限内提出を目指します。			
教科書及び教材			
アパレル技術縫製マニュアル・配布プリント・パターン用具一式・縫製道具一式・筆記用具・メモ帳			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ワンピース製作	製図展開・トワル組み・修正・工業用パターンの製作を学びます。	
2		滑る素材の裁断方法・コンシールファスナーの部分縫いを学びます。	
3		ウエストなどのくびれ大きい箇所のクセ取り・芯・テープ貼り箇所への接着。	
4		パネルライン・切り替えなどの縫製を学ぶ。	
5		コンシールファスナーの縫製方法の習得。	
6		衿・袖周りの見返しの縫製方法を学ぶ。	
7		裾上げ・スプリングホック・仕上げアイロンの習得。	
8	オリジナルブラウス製作	素材・デザイン相談・デザインに対しての製図と展開。	
9		トワルを組み試着補正	
10		ファーストパターンを修正し縫製手順を考える。	
11		デザインに合わせた・縫い代付け・合印しを学ぶ。	
12		進度表に合わせた縫製	
13		進度表に合わせた縫製	
14		進度表に合わせた縫製	
15		製作物の仕上げと・仕様書・レポートを完成させる。	
成績評価の目安と方法			
ワンピース・オリジナルシャツブラウスに関する縫製技術・知識の習得と授業姿勢を加味して総合的に評価する。出席率60%以上を評価対象とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	製作物の仕上がり・レポートのまとめが非常に良く出来ており期限内に提出する事が出来る。		
B	製作物の仕上がり・レポートのまとめが基準値に達しており期限内に提出する事が出来る。		
C	製作物の仕上がり・レポートのまとめ基準値を下回るが期限内に提出する事が出来る。		
D	製作物の仕上がり・レポートのまとめが基準値に達しておらず、期限内に提出が出来ていない。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
アパレル技術 5		箕輪 雅春	
実務経験	科目に関する実務内容		
—	—		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	4
授業概要			
ジャケットの縫製を学ぶ。裏地・芯・副資材について学ぶ。			
学習到達目標			
『ジャケット』の基本的縫製の知識と技術の習得。			
教科書及び教材			
パターン用具一式・縫製用具一式・ノート・筆記用具・縫製技術マニュアル			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	パターンメイキング	テーラードジャケット(身頃・衿)のパターン製作	
2	パターンメイキング	テーラードジャケット(身頃・衿)のトワル組み立て・トワルチェック	
3	パターンメイキング	袖製図・袖付け・トワルチェック	
4	工業用パターン	表衿・見返し・裏地パターン製作	
5	工業用パターン	ポケットパターン・芯パターン・縫い代付け・パターンカット	
6	裁断	表地・裏地・芯地の裁断・印つけ	
7	芯テープ貼り	プレス機による芯貼り・テープ貼り・切りじつけ	
8	部分縫い練習	箱ポケット・フラップ付き両玉縁ポケット・片玉縁ポケットの練習	
9	表身頃縫製	表地縫い合わせ・ポケット作り	
10	裏身頃縫製	裏地縫い合わせ	
11	衿付け	表衿付け・裏衿付け・四つ止め	
12	前端・脇縫い	衿外回り~前端縫い合わせ・脇縫い	
13	袖作り・表袖付け	表袖・裏袖縫い合わせ・表袖付け	
14	裏袖付け・裾縫い	肩パット付け・裏袖付け・裾縫い	
15	まとめ	ボタンホール・ボタン付け・仕上げ・筆記テスト	
成績評価の目安と方法			
ジャケットに関する縫製技術・知識の習得を制作物の内容を加味し評価する。 出席率2/3 (66.7%) 以上を評価対象とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	テーラードジャケットの構造を良く理解し、効率良く、的確な縫製が出来る。		
B	テーラードジャケットの構造を理解し、効率良く縫製が出来る。		
C	テーラードジャケットの構造を理解し、縫製が出来る。		
D	テーラードジャケットの構造の理解と縫製技術が不足している。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
立体裁断1		松山 由未	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	舞台衣装・コレクションピースのデザイン・パターン・縫製の業務に携わる		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	1
授業概要			
立体裁断による原型の製作。スカートの立体表現。			
学習到達目標			
地の目の理解と、ピン打ちなど基本的な立体裁断技術の習得。			
教科書及び教材			
ノート・50cm・30cm方眼定規・えんぴつ(HB)・シルクピン・ピンクッション・裁ちバサミ・黒 テープ・プッシュピン・ルレット・メジャー・筆記用具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ドレーピングの準備	人台の取り扱い方、テープ貼り、シーチングの地の目の通し方	
2	原型のドレーピング	スカート原型のドレーピング	
3	原型のドレーピング	身頃のドレーピング	
4	原型のドレーピング	ウエスト接ぎ・印つけ・平面展開	
5	原型のドレーピング	トワル組み立て	
6	スカートのドレーピング	フレアスカートのドレーピング、平面展開	
7	スカートのドレーピング	Aラインスカートのドレーピング、平面展開	
8	スカートのドレーピング	ヨーク切り替え、ギャザーフレアスカートのトワル組み立て・筆記試験	
成績評価の目安と方法			
テーマごとのトワル完成度・ノートまとめ・筆記テスト			
評価	成績評価別の到達度		
A	人台と体型を良く理解し、原型、スカートの的確な立体表現が出来る。		
B	人台と体型を理解し、原型、スカートの立体表現が出来る。		
C	人台と体型を理解し、原型、スカートの基本的立体裁断が出来る。		
D	人台と体型の理解と、立体裁断技術が不足している。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
立体裁断 2		松山 由未	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	舞台衣装・コレクションピースのデザイン・パターン・縫製の業務に携わる		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	1
授業概要			
身頃のゆとりの入れ方の理解と、ブラウスの立体表現。			
学習到達目標			
『ブラウス』のドレーピングの基本技術の習得。			
教科書及び教材			
ノート・50cm・30cm方眼定規・えんぴつ(HB)・シルクピン・ピンクッション・裁ちバサミ・黒テープ・プッシュピン・ルレット・メジャー・筆記用具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ベーシックブラウス	身頃のドレーピング・印つけ・平面展開	
2	ベーシックブラウス	身頃組み立て	
3	ベーシックブラウス	袖製図・袖付け	
4	ベーシックブラウス	衿のドレーピング(シャツカラー・フラットカラー)	
5	ビスチェドレス	ビスチェの考え方・ドレーピング・印つけ	
6	ビスチェドレス	印つけ・平面展開	
7	ビスチェドレス	ビスチェ組み立て	
8	ビスチェドレス	ペグトップスカート・筆記試験	
成績評価の目安と方法			
テーマごとのトワル完成度・ノートまとめ・筆記テスト			
評価	成績評価別の到達度		
A	体型を良く理解し、ブラウスの的確な立体表現が出来る。		
B	体型を理解し、ブラウスの立体表現が出来る。		
C	体型を理解し、ブラウスの基本的立体裁断が出来る。		
D	体型の理解と、ブラウスの立体裁断技術が不足している。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
デザイン画1		大谷 順	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	担当講師はアパレルメーカーでのイラストレーション制作業務の実績を踏まえ、実務者の観点からデザイン画の描き方を指導する		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年 ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
アパレル業界におけるデザイン画の重要性を理解して、様々な現場で活用できるよう、デザイン画の基本を学習する。各アイテムのオリジナルデザインを描く。			
学習到達目標			
ファッション画の基本的プロポーション、8頭身ポーズが描けるようになる。基本的なファッションアイテムを描けるようになる。			
教科書及び教材			
教科書 筆記用具 方眼定規 クロッキー帳 デザインパッド ピグマペン コピック 色鉛筆その他 画材			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ガイダンス 8頭身直立ヌードを描く	クロッキーで描くことに慣れる。教科書を見ながら基本的な8頭身ヌードを描く。	
2	ポーズヌードを描く	教科書の写真のポーズヌードを8頭身で描く。	
3	手、脚、顔を描く。スカートの基本1	手、脚、顔を描く練習をする。平面図を理解しスカートを描く。	
4	基本画材の説明。スカートの基本2	本的な画材を理解し練習する。スカートの基本的な描き方を練習する。	
5	シャツ・ブラウスの基本	シャツ・ブラウスの概論。基本的なシャツ・ブラウスを描き、ペン入れ、着色する。	
6	パンツの基本 1	パンツの概論。基本的なパンツを新しいヌードに着せて描き、着色する。基本的なパンツを新しいヌードに着せて描き、着色する。	
7	パンツの基本 2	ジーパンを新しいヌードに着せて描き、着色する。	
8	平面図	平面図の使い方理解し、これまでに練習したアイテムを平面図に描く。	
成績評価の目安と方法			
知識・技術習得、受講姿勢、アイテムの基本的な知識と、描き方の技術習得及び、オリジナリティーのあるデザインを評価の対象とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	課題が全て提出されている。各アイテムの描き方を深く理解し、オリジナリティーのあるデザインを描いた。		
B	課題が全て提出されている。各アイテムの描き方を理解し、服の構造を理解したデザインを描いた。		
C	課題が全て提出されている。各アイテムの描き方を理解した。		
D	未提出の課題がある。各アイテムの描き方の理解度が低い。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
デザイン画2		大谷 順	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	担当講師はアパレルメーカーでのイラストレーション制作業務の実績を踏まえ、実務者の観点からデザイン画の描き方を指導する		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年 ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
アパレル業界におけるデザイン画の重要性を理解して、様々な現場で活用できるよう、デザイン画の基本を学習する。各アイテムのオリジナルデザインを描く。			
学習到達目標			
ファッション画の基本的プロポーション、8頭身ポーズが描けるようになる。基本的なファッションアイテムを描けるようになる。			
教科書及び教材			
教科書 筆記用具 方眼定規 クロッキー帳 デザインパッド ピグマペン コピック 色鉛筆その他 画材			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ワンピースの基本1	ワンピースの概論。基本的なワンピースを描き着色する。	
2	ワンピースの基本2	パステルの使い方の基本。ワンピースのオリジナルデザインを描く。	
3	ジャケットの基本1 斜めヌード	ノッチドラペルジャケットを描く。斜めからのポーズにジャケットを着せて描く。	
4	ジャケットの基本2 柄素材の描き方	ピークドラペルジャケットを描く。	
5	コートの基本1	ピーコートとAラインコートを描く。	
6	コートの基本2	トレンチコートを描く。デザイン画に陰影をつけて立体感を出す練習。	
7	写真をデザイン画にする。	4種類の素材感を描く練習。	
8	素材の練習 素材からの発想	自由な頭身で描く。4つの素材感から選び、オリジナルデザインを描く。	
成績評価の目安と方法			
知識・技術習得、受講姿勢、アイテムの基本的な知識と、描き方の技術習得及び、オリジナリティーのあるデザインを評価の対象とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	課題が全て提出されている。各アイテムの描き方を深く理解し、オリジナリティーのあるデザインを描いた。		
B	課題が全て提出されている。各アイテムの描き方を理解し、服の構造を理解したデザインを描いた。		
C	課題が全て提出されている。各アイテムの描き方を理解した。		
D	未提出の課題がある。各アイテムの描き方の理解度が低い。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ファッションマテリアル1		吉井 たか子	
実務経験	科目に関する実務内容		
—	—		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	講義・演習	アパレルプロフェッショナル科1年 ファッションスタイリング科1年	2
授業概要			
服飾のマテリアル(素材)を総合的に学びます。			
学習到達目標			
素材に関する知識習得			
教科書及び教材			
授業時配布資料・生地サンプル			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	アパレルと素材	アパレル素材とは	
2	繊維	繊維の分類について 天然繊維と化学繊維	
3	三原組織	織物の構造・組織	
4	編地	編地の分類と名称	
5	織物服地	主要織物の名称と風合い・材質感	
6	//	//	
7	//	//	
8	//	//	
9	//	//	
10	//	//	
11	//	//	
12	染色・仕上げ・加工	仕上げ・加工の種類染色の工程・種類	
13	織柄・プリント	織柄の名称 プリント柄の名称	
14	筆記試験		
15	まとめ		
成績評価の目安と方法			
服地の基礎知識(名称・分類等)の理解度・授業姿勢			
評価	成績評価別の到達度		
A	服地の基礎知識を良く理解し、ベーシックな素材の特徴を表現できる。		
B	服地の基礎知識を理解し、ベーシックな素材の特徴を表現できる。		
C	服地の基礎知識を理解している。		
D	服地の基礎知識の理解が不足している。		



## 2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ファッションビジネス 1		奈良 将之・田中 日菜子	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	アパレルブランドを起業させた経験を踏まえ、ファッション業界のビジネス手法や用語を熟知しておりその経験を生かし、知識の習得を指導する。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	講義・演習	アパレルプロフェッショナル科 ファッションスタイリング科	2
授業概要			
ファッションビジネス検定3級の習得を目指します。ファッションビジネスとは繊維製品に新しいデザインが表現するスタイルやイメージなどの付加価値を付けて、生産・流通させ、市場で消費者の感性に訴え、共感を得てファッションを創り出し、成果を得る手段をいいます。授業を通しアパレル業界全体の仕組みを包括、基礎から理解します。			
学習到達目標			
ファッション業界に必要な基礎用語や知識の習得、FB検定試験3級合格			
教科書及び教材			
ファッションビジネス能力検定 3級公式テキスト ファッション辞典			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ファッション・ビジネスの概要	ファッションビジネスの概要 繊維ファッション産業の流れ	
2	ファッション消費と消費者行動	ファッション消費と消費者行動 ライフスタイルとファッション お客様の購買行動	
3	アパレル産業と小売業	ファッションスタイリング科産業の概要 ファッション小売業の概要	
4	マーケティング	マーケティングの基礎知識 マーケティング上の分類方法 市場調査の基礎知識	
5	マーチャンダイジング	マーチャンダイジング基礎知識 商品企画・生産・販売の流れ 売り場 商品構成の基礎知識	
6	ファッション流通	流通 ファッション小売企業の仕組みと業務	
7	ビジネス基礎知識	会社に関する基礎知識 企業の組織 企業会計 係数知識	
8	模擬テスト	実際の検定試験を意識して前年度検定試験と同じ様式にて実施	
9	ファッション、デザイン、アパレル	ファッション、デザインの定義と特性 アパレルデザインの基礎知識	
10	ファッションスタイリング	コーディネートシートの基礎知識	
11	ファッション商品知識	アパレル商品知識（服種、アイテム、シルエット、ディテール）	
12	ファッションデザイン	サイズの知識 繊維の知識	
13	ファッション・エンジニアリング	服飾造形に関する基礎知識 パターンに関する基礎知識	
14	模擬テスト	実際の検定試験を意識して前年度検定試験と同じ様式にて実施	
15	試験対策	模擬試験を踏まえて学習が必要な個所を絞って講義を行います。	
成績評価の目安と方法			
知識の習得、受講姿勢、提出物、ファッションビジネス検定3級試験結果を総合的に評価。出席率60%以上を評価対象とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	ファッションビジネス3級知識を十分に身に付けている。		
B	ファッションビジネス3級知識をおおまかに身に付けている。		
C	ファッションビジネス3級知識を最低限身に付けている。		
D	特定の知識習得が出来ていない。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ビジネスコミュニケーション		谷口 幸広	
実務経験	科目に関する実務内容		
—	—		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	講義・演習	アパレルプロフェッショナル科1年 ファッションスタイリング科1年	2
授業概要			
【変化が激しい時代のビジネスシーンで、どのように活躍するか】「誰かを輝かせるためのプロになる」を実現するために必要な、①社会を知る(時代や社会状況)②相手を知る(企業や消費者・顧客)③自分を知る(自己)を、ワークショップ・プレゼン・ビジネス最前線に関する視聴・リサーチを通じて得ていく。前述 ①～③のために「情報活用スキル」を実践していく。			
学習到達目標			
上記①～③を理解したうえで、「誰に(企業・顧客・消費者)」「何を(商品・サービス)」「どのように(それぞれの立場・役割で、自分の特性をふまえた方法・手段＝コミュニケーション)」を明確にし、今後の成長計画に結びつけていく。			
教科書及び教材			
毎回講義使用教材を配布(ビジネスシミュレーションゲーム、ワークシート、自己チェックシート、ビジネス記事、企画シート、マイキャリアカード)			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ガイダンス	【1】講義の目的・流れ／講師紹介【2】説明:現在の社会環境／基礎用語定義(共通言語化) 【3】演習:①自己を知る②他者を知る③共通点を見出す	
2	情報	【1】復習【2】説明:情報とは(事実と解釈／一次情報と二次情報)【3】演習:①具体化と言語化 ②情報共有	
3	情報活用スキル	【1】復習【2】説明:情報活用スキル【3】演習:情報活用スキル「収集」編(講義項目に関する情報を集めよう)	
4	環境を知る	【1】復習【2】視聴:ファッション・アパレル業界に関するドキュメンタリー番組【3】演習:①視聴した内容を「事実」と「解釈」にわけると②番組内で出てきた業界の課題を、自分たちならどう解決するかディスカッション。	
5	環境を知る 職種リサーチ2-1	【1】復習【2】演習:①ファッション・アパレル業界に関わる職種・職業に関する情報収集と分類 ②グループごとに発表	
6	環境を知る 職種リサーチ2-2	【1】復習【2】演習:①前回集めた情報から興味関心の高い職種・職業を選択し、より詳しく具体的な情報を集める②その職種・職業に関わる「人」と、どのような関係性になるか?を想像する。	
7	自己理解マイキャリアカード2-1	カードソート「マイキャリアカード」を使い、自己理解を進める。	
8	自己理解マイキャリアカード2-2	カードソート「マイキャリアカード」を使い、自己理解を進める。	
9	相手を知る	【1】復習【2】説明:「欲求」と「価値」	
10	プレゼンテーション2-1	【1】復習【2】社会人インタビューに関する発表【3】演習:価値を創り出す(砂漠で砂を売る他)	
11	プレゼンテーション2-2	【1】復習【2】社会人インタビューに関する発表【3】演習:企画(新しい価値あるものを創造する)	
12	自分を知る／相手を知る	【1】復習【2】説明:付加価値とブランド	
13	自分を知る／相手を知る	【1】復習【2】演習:自分が提供できる価値【3】説明:価値観の共有	
14	総復習	第1回～第13回までの講義内容の総まとめ	
15	試験(企画書)	「誰かを輝かせるファッションのプロ」になるための計画・企画書の作成	
成績評価の目安と方法			
受講態度、提出物、試験を総合的に評価、総合評点が60点以上を合格とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	広い視野で情報収集し、独自の分析をし、相手の立場に立ってプレゼンできる。		
B	見えない情報も推察して情報収集を行い、多角度な視点で分析、編集できる。		
C	情報を収集し、意図をもって編集し、発信できる。		
D	相手の質問意図を汲むことができず一方的な発信、受信になりがち。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
コンピューターグラフィックス1		奈良 将之	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	担当講師はアパレルメーカーのCGを生かしたデザイン業務の実績を踏まえ、実務者の観点からCGの実習を指導する。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年 ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
Macintosh の基本操作をはじめ、Adobe PhotoshopやAdobe illustratorの基本操作、各種ソフトの特徴を理解して目的に応じた適切な方法を選択し、仕上げるまでの授業を副教材を用いて行います。			
学習到達目標			
CGの基本的操作方法を習得			
教科書及び教材			
解説プリント及び見本、トレーニングファイル			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	オリエンテーション	PCルーム、システム、各種ソフトの使用方法和注意事項	
2	Adobe Photoshop1	用紙設定、各種ツール説明、レイヤー、フィルターをはじめとする主な操作方法、保存、プリントアウト、イラストレーターとの互換性を副教材を使用し修得する。	
3	Adobe Photoshop2	応用	
4	Adobe illustrator1	用紙設定、各種ツール説明、写真の配置と文字の重ね方をはじめとする主な操作方法、保存、プリントアウト、フォトショップとの互換性を副教材を使用し修得する。	
5	Adobe illustrator2	応用	
6	デザイン実習1	デザイン実習	
7	デザイン実習2	デザイン実習	
8	デザイン実習3	作品の仕上げ、完成データ提出	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢を総合的に評価する。			
評価	成績評価別の到達度		
A	Adobe Photoshopの基本的機能を理解、作品に反映されている。		
B	Adobe Photoshopの基本的機能をおおむね理解、作品に反映されている。		
C	Adobe Photoshopの基本的機能を最低限理解している。		
D	特定の技術習得ができていない。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
リクルートガイダンス1		奈良 将之	
実務経験	科目に関する実務内容		
	2年次に実践される就職活動にていち早く内定を決定するための準備をする。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	講義・演習	アパレルプロフェッショナル科1年生 ファッションスタイリング科1年生	2
授業概要			
就職希望者が就職活動においての知識と技術を身に付けることを目的とします。			
学習到達目標			
就職活動の内容を理解し、採用試験の準備ができるようになる事を目指します。			
教科書及び教材			
テキストは使用しない。必要に応じてプリントを配布します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	オリエンテーション	ファッション業界の職種・業態の理解	
2	自己分析/グループワーク	他人から見た自分。第三者から評価をしてもらい正しく自己PRに活かす。	
3	自己PR作成1	就職活動用の文章の書き方を理解する。	企業研究1（自分の理想企業を探し出す。）
4	自己PR作成2		
5	職種理解1	販売職を知る1	
6	職種理解2	企画職を知る	
7	職種理解3	技術職を知る	
8	職種理解4	販売職を知る2 (株)レイカズン	
9	履歴書作成1	相手先企業の企業理念を理解し それに対応する文章作成。	企業研究2（職種理解を受けた上で 自分の理想企業を探し出す。）
10	履歴書作成2		
11	エントリーシートについて	ES用の写真を撮影加工。 (株)レイカズン	
12	連絡方法について	メール・電話、職場訪問時についての注意点。 (株)レイカズン	
13	グループディスカッション	各グループに分かれて取り組み理解を深める。 (株)レイカズン	
14	面接準備	返答準備、面接官の視点を理解する。 (株)レイカズン	
15	面接準備	集団面接と個人面接の練習をする。 (株)レイカズン	
成績評価の目安と方法			
各回で実地する課題、授業態度などで総合的に成績評価を行う。			
評価	成績評価別の到達度		
A	就職活動について十分に理解し、採用試験の準備が出来る。		
B	就職活動について良く理解し採用試験の準備が出来る。		
C	就職活動について理解し必要書類を最低限書く事ができる。		
D	単位認定不可		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
デザイン画3		大谷 順	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	担当講師はアパレルメーカーでのイラストレーション制作業務の実績を踏まえ、実務者の観点からデザイン画の描き方を指導する		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	アパレルプロフェッショナル科1年	1
授業概要			
様々な発想方法によるオリジナルデザインの作成。全8回を使ってポートフォリオの作成をし、それを通して創造力を鍛え、オリジナリティー重視のデザイン画を描く。			
学習到達目標			
ファッションデザインの発想方法を身につけ、ポートフォリオ(デザインブック)にまとめられるようになる。			
教科書及び教材			
教科書、筆記用具、クロッキー帳、デザインパッド、その他自分の使いたい画材。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ポートフォリオ(デザインブック)の作成	ポートフォリオの概論 資料写真の集め方 見本を使っての説明。自由な頭身でデザイン画を作成する。	
2	ディテールからの発想	ディテールの参考資料を使ってオリジナル作品を描く。	
3	人体への適合からの発想	人体への適合の資料を使ってオリジナルデザインを描く。	
4	民族衣装からの発想	民族衣装の資料からオリジナルデザインを描く。ポートフォリオチェック。	
5	カワイイからの発想	自分で考えるカワイイの資料を探してオリジナルデザインを描く。	
6	美術からの発想	自分の好きな美術資料を探してオリジナルデザインを描く。	
7	ポートフォリオ作成1	自分オリジナルのポートフォリオを作成する。	
8	ポートフォリオ作成2	ポートフォリオを完成させる。	
成績評価の目安と方法			
オリジナルデザインの完成度、受講姿勢、自分独自のオリジナルデザインが見る人に伝わるようにポートフォリオにまとめられたか。			
評価	成績評価別の到達度		
A	課題が全て提出されている。オリジナリティーにあふれるポートフォリオを作成した。		
B	課題が全て提出されている。オリジナリティーを追求した。		
C	課題が全て提出されている。オリジナル度が低い。		
D	未提出の課題がある。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
スタイリングマップ1		染谷 明る実	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	プロスタイリストとしてのスタイリング業務の経験を活かし、分析メソッドによる論理的なスタイリングイメージの表現を指導する		
授業科目区分	受講学生		単位
選択	講義・演習	アパレルプロフェッショナル科1年	2
授業概要			
物を色形素材で分析、表現したいスタイリングイメージを論理的に伝える知識の学習			
学習到達目標			
トータルスタイリストジュニアレベル検定合格を目指す 物をテイストで見分けることが出来る、人の外面分析、コミュニケーションタイプを知る			
教科書及び教材			
スタイリングの教科書、Styling Map eラーニング			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	Styling Map概要	オリエンテーション 授業の目的 スタイリングとは	
2	物の分析 色1	Styling Mapとは 物の色の個性を知ろう	
3	物の分析 色2	物の色の個性を分析、ワーク	
4	物の分析 形1	物の形の個性を知ろう	
5	物の分析 形2	物の形の個性を分析、ワーク	
6	物の分析 素材1	物の素材の個性を知ろう	
7	物の分析 素材2	物の素材の個性を分析、ワーク	
8	物の分析 トータル1	Styling Mapを使ってスタイリングしよう、ワーク	
9	物の分析 トータル2	Styling Mapを使ってスタイリングしよう、ワーク	
10	人の分析分類1	人の色の分析分類	
11	人の分析分類2	人の形、素材の分析分類	
12	人の分析分類トータル1	タレント分析	
13	人と物のスタイリングテクニック	分析タレントへの提案スタイリング	
14	コミュニケーションタイプ	人のコミュニケーションの個性を知ろう	
15	検定対策	検定対策ノートのおさらい、eラーニングの練習	
成績評価の目安と方法			
授業態度、理論の理解度、提出物の完成度、テスト、オリジナリティ			
評価	成績評価別の到達度		
A	課題判定A Styling Map理論を理解、物の分析が的確に行え論理的な解説が出来る イメージスタイリングができる		
B	課題判定B Styling Map理論を理解、物の分析が的確に行え論理的な解説が出来る		
C	課題判定C Styling Map理論を理解、物の分析が的確に行える		
D	課題判定D Styling Map理論の理解が十分でなく物の分析を的確に行えない		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
コンピューターグラフィックス2		奈良 将之	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	担当講師はアパレルメーカーのCGを生かしたデザイン業務の実績を踏まえ、実務者の観点からCGの実習を指導する。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	アパレルプロフェッショナル科1年 ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
必修科目コンピューターグラフィックス1で学んだ基本操作の復習と、主にシルクスクリーン手法を使用したオリジナルデザインプリントを製作し、更なる知識、技術の追求を深めます。			
学習到達目標			
道具としてCGが使える力を身につける。			
教科書及び教材			
作品見本illustratorファイル、他			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ソフトの互換性について	Adobe illustrator、Photoshopの基本操作復習	
2	Adobe illustrator技術習得1	デザイン実習1と復習、シルクスクリーンプリントの構造説明	
3	Adobe illustrator技術習得2	デザイン実習2と復習、デザイン相談	
4	CGデザイン実習	デザイン実習3と復習	
5	シルクスクリーン製作	シルクスクリーン版の製作	
6	シルクスクリーンプリント	インク配合とプリント実習	
7	CGデザイン実習	CG2最終作品を完成させる為のチュートリアル	
8	テスト	Adobe illustrato作品製作	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢を総合的に評価する。			
評価	成績評価別の到達度		
A	Adobe illustrator、Photoshopの基本的機能、互換性を理解、作品に反映されている。		
B	Adobe illustrator、Photoshopの基本的機能、互換性を理解をおおむね理解、作品に反映されている。		
C	Adobe illustrator、Photoshopの基本的機能を最低限理解、作品に反映されている。		
D	特定の技術習得ができていない		

【アパレルプロフェッショナル科 2年】

デザインクリエーション1	70
デザインクリエーション2	
デザインクリエーション3	
クリエーションパターン1	73
クリエーションパターン2	
クリエーションパターン3	
モデリング1	76
モデリング2	
モデリング3	
立体裁断3	79
CAD1	80
CAD2	
パターン・テクニック1	82
パターン・テクニック2	
ファッションマテリアル2	84
リクルートガイダンス2	85
CAD3	86
立体裁断4	87
帽子製作	88
インターンシップ	89



2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
デザインクリエイション1		須澤 麻紀・三枝 塁	
実務経験	科目に関する実務内容		
—	—		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	1
授業概要			
期間限定ショップに向けた商品企画の授業です。商品コンセプト、デザインテーマを組み立て、それからデザインを製作します。授業の成果物として企画内容をまとめたレジュメを完成させます。			
学習到達目標			
販売時期やトレンドを意識しながら創造的なデザインを生み出す事の大切さを学び、価値を創造する大切さを理解してください。			
教科書及び教材			
毎回、デザイン画を描ける準備をして下さい。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	課題説明	期間限定ショップへの理解の促し諸品製作上、押さえるポイントの説明をします。	
2	デザイン練習	自由な発想の着こなしで表現する~デザイン作り~発表	
3	デザイン練習	色や柄使いをポイントとしたデザイン作り~発表	
4	デザインテーマ	販売時期を考慮し、商品を魅力的に伝えるテーマを作る。設定したテーマのイメージビジュアルを作っていきます。	
5	チュートリアル	個別にデザイン相談	
6	修正作業~修正確認	指摘事項を消化する修正作業~デザイン完成	
7	デザイン完成 プレゼン準備	企画内容を要約したレジュメを作ります。	
8	レジュメ完成	レジュメ完成	
成績評価の目安と方法			
課題に対するの理解度30点 製作物のクオリティ20点 独創性40点 期限内提出10点			
評価	成績評価別の到達度		
A	販売時期やトレンドを理解し、価値を感じさせる商品を企画し、その内容をレジュメに表現できた。		
B	販売時期やトレンドを理解し、価値を感じさせる商品を企画できた。		
C	授業に参加し、個性的なデザインを製作することができた。		
D	授業に参加し、デザインを製作することができた。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
デザインクリエイション2		須澤 麻紀	
実務経験	科目に関する実務内容		
—	—		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	1
授業概要			
11月のincubate collection で発表する作品のデザイン製作の授業です。コンセプト、デザインテーマを組み立てデザインを製作します。授業の成果物として企画内容をまとめたレジュメを完成させます。			
学習到達目標			
そのデザインは誰に対しての物なのかを明確に意識し、個性的なデザインを生み出す事の大切さを学び、美しさの表現に全力を尽くす。			
教科書及び教材			
毎回、デザイン画を描ける準備をして下さい。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	課題説明	コレクションへの理解の促し、押さえるべきポイントの説明をします。過去のコレクションの映像や写真で参考作品を批評します。	
2	テーマ作り	時代感を感じさせるテーマ作り	
3	テーマプレゼン	ラフの段階でクラス内でテーマのプレゼン。	
4	イメージボード製作	設定したテーマのイメージヴィジュアルを作っていきます。	
5	デザインワーク	テーマに沿ったデザイン製作します。同時に使用する素材の研究を行います。	
6	チュートリアル	個別にデザイン相談。修正箇所の指摘。	
7	修正作業~修正確認	デザインの修正作業~デザイン完成。	
8	デザイン完成 プレゼン準備	イメージボード、デザインが、テーマや商品内容のポイントを要約したレジュメを作ります。	
成績評価の目安と方法			
課題に対する理解度30点 製作物のクオリティ20点 独創性40点 期限内提出10点			
評価	成績評価別の到達度		
A	時代感を感じさせ、且つ個性的なデザインを生み出し、その内容をレジュメで表現できた。		
B	個性的なデザインを生み出し、その内容をレジュメで表現できた。		
C	授業に参加し、個性的なデザインを製作することができた。		
D	授業に参加し、デザインを製作することができた。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
デザインクリエイション3		須澤 麻紀	
実務経験	科目に関する実務内容		
—	—		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	1
授業概要			
学園祭での卒業製作として発表する作品のデザイン製作の授業です。コンセプト、デザインテーマを組み立てデザインを製作します。授業の成果物として企画内容をまとめたレジュメを完成させます。			
学習到達目標			
そのデザインは誰に対しての物なのかを明確に意識し、個性的なデザインを生み出す事の大切さを学び、美しさの表現に全力を尽くし、2年間の集大成として見栄えのする作品を目指してください。			
教科書及び教材			
毎回、デザイン画を描ける準備をして下さい。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	課題説明	卒業製作で押さえるべきポイントの説明をします。過去のコレクションの映像や写真で参考作品を批評します。	
2	テーマ作り	時代感を感じさせるテーマ作り	
3	テーマプレゼン	ラフの段階でクラス内でテーマのプレゼン。	
4	イメージボード製作	設定したテーマのイメージヴィジュアルを作っていきます。	
5	デザインワーク	テーマに沿ったデザイン製作します。同時に使用する素材のリサーチを行います。	
6	チュートリアル	個別にデザイン相談。修正箇所の指摘。	
7	修正作業~修正確認	デザインの修正作業~デザイン完成。	
8	デザイン完成 プレゼン準備	イメージボード、デザインが、テーマや商品内容のポイントを要約したレジュメを作ります。	
成績評価の目安と方法			
課題に対するの理解度30点 製作物のクオリティ20点 独創性40点 期限内提出10点			
評価	成績評価別の到達度		
A	時代感を感じさせ、且つ個性的なデザインを生み出し、その内容をレジュメで表現できた。		
B	個性的なデザインを生み出し、その内容をレジュメで表現できた。		
C	授業に参加し、個性的なデザインを製作することができた。		
D	授業に参加し、デザインを製作することができた。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
クリエイションパターン1		三枝 壘	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	-		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	2
授業概要			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・期間限定ショップでの商品製作・自身のトレンド、デザインを具体化</li> <li>・企業の工程、手順を学ぶ</li> <li>・完成までの時間配分能力を習得する。</li> </ul>			
学習到達目標			
基本と応用力トレンドの具体化(全体のバランスを考えたトワル組立て、完成) バランスを考えたパターントワルの修正方法を学ぶ			
教科書及び教材			
パターン用具一式、製図用紙、原型、ボディ9号 他			
授業内容			
回	テーマ	内容	
	【デザイン画参考の上、パターン及びドレーピング指導】		
	工程 1、パターン~トワルへ		
	2、立体~パターンへ		
	3、ボディにて半身製作(アシメトリーの場合は両身製作)		
	4、ボディにて全体のバランス修正(ピン打ち)		
	5、トワル縫い、ボディにてトワルチェック実施		
	6、トワルチェック修正~授業最終に修正パターン完成		
成績評価の目安と方法			
パターン力、立体力、基本~応用能力、計画性、工程管理、進行状況、出席、授業態度			
評価	成績評価別の到達度		
A	進行、出席、授業態度、理解力、が優れている。作品の完成		
B	進行、出席、授業態度、理解力、が平均レベル。作品の完成		
C	進行に遅れがあるが作品は完成		
D	進行に遅れがあり作品未完成		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
クリエイションパターン2		三枝 壘・松山 由未	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	—		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	2
授業概要			
・ incubate collectionの作品製作 ・ オリジナリティを重視しデザインを具体化 ・ パターン、立体のバランス習得 ・ 完成までの時間配分能力を習得する。			
学習到達目標			
モデルに合ったサイズ修正をマスターする。具体化する技術力の習得			
教科書及び教材			
パターン用具一式、製図用紙、原型、ボディ9号 他			
授業内容			
回	テーマ	内容	
		【デザイン画参考の上、パターン及びドレーピング指導】	
		工程 1、モデルサイズを知る	
		2、パターン~トワルへ 立体~パターンへ	
		3、立体~パターンへ	
		4、ボディにて全体のバランス修正(ピン打ち)	
		5、トワル縫い、ボディにてトワルチェック実施	
		6、トワルチェック	
		7、トワルチェック修正~授業最終に修正パターン完成	
成績評価の目安と方法			
パターン力、立体力、基本~応用能力、計画性、工程管理、進行状況、授業態度			
評価	成績評価別の到達度		
A	進行、出席、授業態度、理解力、が優れている。作品の完成		
B	進行、出席、授業態度、理解力、が平均レベル。作品の完成		
C	進行に遅れがあるが作品は完成		
D	進行に遅れがあり作品未完成		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
クリエイションパターン3		三枝 壘	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	—		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	1
授業概要			
・卒業記念コレクション作品製作・オリジナリティを重視しデザインを具体化・パターン、立体のバランス習得・完成までの時間配分能力を習得する。			
学習到達目標			
モデルに合ったサイズ修正をマスターする。具体化する技術力の習得			
教科書及び教材			
パターン用具一式、製図用紙、原型、ボディ9号 他			
授業内容			
回	テーマ	内容	
		【デザイン画参考の上、パターン及びドレーピング指導】	
		工程 1、モデルサイズを知る	
		2、パターン～トワルへ 立体～パターンへ	
		3、立体～パターンへ	
		4、ボディにて全体のバランス修正(ピン打ち)	
		5、トワル縫い、ボディにてトワルチェック実施	
		6、トワルチェック	
		7、トワルチェック修正～授業最終に修正パターン完成	
成績評価の目安と方法			
パターン力、立体力、基本～応用能力、計画性、工程管理、進行状況、出席、授業態度			
評価	成績評価別の到達度		
A	進行、出席、授業態度、理解力、が優れている。作品の完成		
B	進行、出席、授業態度、理解力、が平均レベル。作品の完成		
C	進行に遅れがあるが作品は完成		
D	進行に遅れがあり作品未完成		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
モデリング1		三枝 壘	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	-		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	3
授業概要			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 期間限定ショップでの商品製作・自身のトレンド、デザインを具体化・企業の工程、手順を学ぶ</li> <li>・ 完成までの時間配分能力を習得する。</li> </ul>			
学習到達目標			
デザイン画にあった全体バランス、素材選び、縫製技術の習得			
教科書及び教材			
縫製用具一式、製作上必要な材料は各自で準備			
授業内容			
回	テーマ	内容	
	【商品製作の作業工程】		
		工程 1、修正パターン確認	
		2、裁断	
		3、ソーイング指導	
		4、完成チェック (ボディ9号)	
		5、完成	
成績評価の目安と方法			
縫製技術、計画性、工程管理、進行状況、授業態度			
評価	成績評価別の到達度		
A	進行、出席、授業態度、理解力、が優れている。作品の完成		
B	進行、出席、授業態度、理解力、が平均レベル。作品の完成		
C	進行に遅れがあるが作品は完成		
D	進行に遅れがあり作品未完成		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
モデリング2		三枝 壘・松山 由未	
実務経験	科目に関する実務内容		
—	—		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	3
授業概要			
・incubate collectionの作品製作・オリジナリティを重視しデザインを具体化・パターン、立体のバランス習得・完成までの時間配分能力を習得する。			
学習到達目標			
デザイン画にあった全体バランス、素材選び。具体化する技術力の習得			
教科書及び教材			
縫製用具一式、製作上必要な材料は各自で準備			
授業内容			
回	テーマ	内容	
	【コレクション作品製作の作業工程】		
	工程 1、修正パターン確認		
	2、裁断		
	3、ソーイング指導		
	4、モデルによるフィッティング		
	5、フィッティング~修正		
	6、修正確認		
	7、完成~コーディネートまで含めた完成チェック		
成績評価の目安と方法			
縫製技術、計画性、工程管理、進行状況、授業態度			
評価	成績評価別の到達度		
A	進行、出席、授業態度、理解力、が優れている。作品の完成		
B	進行、出席、授業態度、理解力、が平均レベル。作品の完成		
C	進行に遅れがあるが作品は完成		
D	進行に遅れがあり作品未完成		



2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
モデリング3		三枝 壘	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	—		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	2
授業概要			
・卒業記念コレクション作品製作・オリジナリティを重視しデザインを具体化・パターン、立体のバランス習得・完成までの時間配分能力を習得する。			
学習到達目標			
デザイン画にあった全体バランス、素材選び。具体化する技術力の習得			
教科書及び教材			
縫製用具一式、製作上必要な材料は各自で準備			
授業内容			
回	テーマ	内容	
		【卒業記念コレクション作品製作の作業工程】	
		工程 1、修正パターン確認	
		2、裁断	
		3、ソーイング指導	
		4、モデルによるフィッティング	
		5、フィッティング~修正	
		6、修正確認	
		7、完成~コーディネートまで含めた完成チェック	
成績評価の目安と方法			
縫製技術、計画性、工程管理、進行状況、授業態度			
評価	成績評価別の到達度		
A	進行、出席、授業態度、理解力、が優れている。作品の完成		
B	進行、出席、授業態度、理解力、が平均レベル。作品の完成		
C	進行に遅れがあるが作品は完成		
D	進行に遅れがあり作品未完成		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
立体裁断3		松山 由未	
実務経験	科目に関する実務内容		
—	—		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	1
授業概要			
立体裁断による表現実習とパターン理論、演習			
学習到達目標			
製品と作品表現のための立体裁断の基本技術の習熟 平面製図との互換性、身体と洋服の関係性の理解			
教科書及び教材			
洋裁・製図用具、3色ボールペン、ノート、他必要に応じて授業内で告知			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	オリエンテーション	授業進行、評価基準、トルソーと製図法、規格、サイジング	
2	身頃原型1	ドレーピング	
3	身頃原型2	補正、理論と演習	
4	身頃原型3	パターンドラフティング、面取り製図	
5	スカート原型1	ドレーピング	
6	スカート原型2	補正、理論と演習	
7	スカート原型3	パターンドラフティング	
8	スタンドカラー	バンドカラー・スタンドカラー、サンプルメーキングと補正	
成績評価の目安と方法			
技術修得、課題提出、受講姿勢を総合的に評価。受講回数が2/3未満もしくは理解不足と考えられる場合、評価対象外、再履修とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	立体裁断と平面製図のそれぞれの特性と互換性を理解し、トワルを的確に組み上げることができる。		
B	立体裁断と平面製図を理解し、トワルを組み上げることができる。		
C	立体裁断の特性を理解し、ピンワークで表現できる。		
D	ピンワークに未熟な点が多く見られる、課題の未提出、受講状況・姿勢に問題がある。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
CAD1		中根 歩	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	フリーパタンナーとしての経験を生かし、CADを使用したパターン作成のノウハウを指導する。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	1
授業概要			
CADの基本操作の習得			
学習到達目標			
アパレル業界で必要不可欠となったアパレルCADを現状の理解とともに操作方法も学習する。			
教科書及び教材			
配布プリント等			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	CADの基本知識	アパレル業界とCADの現状。	
2	基本操作1	画面構成(画面解説)	
3	基本操作2	データ管理(開く・保存・バックアップなど)	
4	基本操作3	基本操作(マウスやキーボードを使用した基本操作)	
5	基本操作4	基本操作(機能の紹介)	
6	基本操作5	メニューのカスタマイズ	
7	基本操作6	入力と出力(トレース・プロッタ・プリンタ)	
8	復習	簡単な囲み製図 操作方法の習得確認	
成績評価の目安と方法			
出席率、受講態度、知識・技術の習得を総合的に評価する。出席回数が2/3未満、もしくは提出課題未了の場合は再履修とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	積極的に授業に参加し、CADの基本操作が習得出来ている。		
B	積極的に授業に参加し、CADの基本操作が概ね習得出来ている。		
C	授業に参加し、CADの基本操作習得が不十分ではある。		
D	授業の参加が消極的で、CADの基本操作の習得が未熟である。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
CAD2		中根 歩	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	フリーパタンナーとしての経験を生かし、CADを使用したパターン作成のノウハウを指導する。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	1
授業概要			
CADの基本操作の習得 マーキング、グレーディング操作の習得			
学習到達目標			
アパレル業界で必要不可欠となったアパレルCADを現状の理解とともに操作方法も学習する。			
教科書及び教材			
配布プリント等			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	マーキングの基本操作1	データの流れ	
2	マーキングの基本操作2	収集とデータ管理	
3	マーキングの基本操作3	配置と基本的な機能	
4	マーキングの基本操作4	柄合わせ	
5	グレーディング1	グレーディング作業の流れ	
6	グレーディング2	グレーディング処理とチェック機能	
7	グレーディング3	色々なデザインに対応するには	
8	復習	習得確認	
成績評価の目安と方法			
受講態度、知識・技術の習得を総合的に評価する。出席回数が2/3未満、もしくは提出課題未了の場合は再履修とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	積極的に授業に参加し、マーキング、グレーディングの操作が習得出来ている。		
B	積極的に授業に参加し、マーキング、グレーディング操作が概ね習得出来ている。		
C	授業に参加し、マーキング、グレーディング操作習得が不十分ではある。		
D	授業の参加が消極的で、マーキング、グレーディング操作の習得が未熟である。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
パターン・テクニク1		室谷 浩子	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	担当講師はアパレルメーカーでのパタンナー職の業務経験を生かし基礎となるパターン知識とアイテムごとのパターンメイキング方法を指導する。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	1
授業概要			
パターンメイキングに関する基礎知識・技術をパターンメイキング技術検定3級筆記試験対策をかねて学ぶ			
学習到達目標			
パターンメイキング技術検定3級筆記試験合格			
教科書及び教材			
パターンメイキング技術検定3級ガイドブック・パターン用具一式			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ブラウスのパターンメイキング	身頃のパターン(シルエット・構造線の考え方)	
2	ブラウスのパターンメイキング	袖のパターン(袖山の考え方、平面製図と展開)	
3	ブラウスのパターンメイキング	衿のパターン(衿腰の考え方)	
4	工業用パターンの知識	工業用パターン記号・縫い代の考え方・縫い代付け	
5	グレーディング	スカート、スカートのグレーディングの考え方と実技、ネスト図	
6	模擬試験	理論 解答・解説	
7	模擬試験	理論 解答・解説	
8	試験対策	復習と質問・試験準備	
成績評価の目安と方法			
パターンメイキング技術検定3級筆記試験の結果・課題提出状況			
評価	成績評価別の到達度		
A	パターンメイキング技術検定3級筆記試験合格及びブラウスの構造を良く理解している。		
B	パターンメイキング技術検定3級筆記試験合格及びブラウスの構造を理解している。		
C	ブラウスの構造を理解している。		
D	ブラウスの構造の理解度が不足している。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
パターン・テクニック2		室谷 浩子	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	担当講師はアパレルメーカーでのパタンナー職の業務経験を生かし基礎となるパターン知識とアイテムごとのパターンメイキング方法を指導する。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	1
授業概要			
パターンメイキングに関する基礎知識・技術をパターンメイキング技術検定3級筆記試験対策をかねて学ぶ。			
学習到達目標			
パターンメイキング技術検定3級 実技試験合格			
教科書及び教材			
パターンメイキング技術検定3級ガイドブック・パターン用具一式・配布資料			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ブラウスA	パターントレース・トワルチェック・パターンチェックパターンメイキング	
2	ブラウスAブラウスB	パターントレース・トワルチェック・パターンチェックパターンメイキング	
3	ブラウスB	トワル裁断・組み立てパターンントレース・トワルチェック・パターンチェック	
4	模擬試験(ブラウスA)	パターンメイキング～トワル組み立て	
5	模擬試験(ブラウスA)	時間内でファーストパターンとトワル完成 確認・修正	
6	模擬試験(ブラウスB)	パターンメイキング～トワル組み立て	
7	模擬試験(ブラウスB)	時間内でファーストパターンとトワル完成 確認・修正	
8	試験対策	復習と試験準備	
成績評価の目安と方法			
パターンメイキング技術検定3級実技試験の結果・模擬試験の結果			
評価	成績評価別の到達度		
A	パターンメイキング技術検定3級実技試験合格及びブラウスの構造を良く理解しパターン・トワルで美しく表現出来る。		
B	パターンメイキング技術検定3級実技試験合格及びブラウスの構造を理解しパターン・トワルで表現出来る。		
C	ブラウスの構造を理解しパターン・トワルで表現出来る。		
D	ブラウスの構造の理解度が不足している。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ファッションマテリアル2		齋藤 誠志	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	アパレル企業のデザイナー経験を生かし、商品として必要な素材の知識を指導する。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	講義・演習	アパレルプロフェッショナル科2年	2
授業概要			
1年次に学習した基本を復習しながら、教員の用意するテキスタイル資料、PPT画像等を使用し進める。実際の素材にも触れながら目と手で学ぶ授業内容を進行する。			
学習到達目標			
自らの作品クリエーションを高度なものとするため、詳しくテキスタイル知識を習得する。			
教科書及び教材			
教科書及びテキストは使用せず、教員が用意する素材資料、又コピーを教材とする。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	授業全体ガイダンス	具体的な授業内容とその進行方法の解説	
2	素材基礎知識	1年次学習内容の確認	
3	天然繊維1	天然繊維基本素材の種類と特徴の解説	
4	天然繊維2	//	
5	化学繊維1	化学繊維素材の種類と特徴の解説	
6	糸の種類と性能	分類 製造と加工 構造と性質	
7	布等の種類と性能	種類 組織 編物の種類と編地の基礎	
8	染色・加工について	テキスタイルの染色、加工の解説	
9	新しい素材について	注目素材や繊維について	
10	衣料品の品質要求項目	素材の品質要求項目と消費性能	
11	品質管理	品質管理とは 実施と手法	
12	繊維製品の消費者問題1	新しい洗濯表示について	
13	繊維製品の消費者問題2	衣料品の消費者苦情 環境問題	
14	テスト実施	習得知識の筆記テストを実施	
15	テスト解説と総合復習	テスト解答解説 質疑応答	
成績評価の目安と方法			
知識の習得、受講姿勢、で評価する。出席は2/3以上の出席を必要とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	講義内容を十分に理解することができた。		
B	講義内容を良く理解した。		
C	講義内容を理解した。		
D	単位認定不可		

## 2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
リクルートガイダンス2		奈良 将之	
実務経験	科目に関する実務内容		
-	2年次に実践される就職活動にていち早く内定を決定するための準備をする。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修/選択	講義・演習	アパレルプロフェッショナル科2年 ファッションスタイリング科2年	1
授業概要			
リクルートガイダンス1で学んだことを基礎とし、実践的に就職試験の対策を行う。			
学習到達目標			
希望する企業の内定取得。			
教科書及び教材			
テキストは使用しません。必要に応じてプリントを配布します。また適宜参考文献等を紹介します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ガイダンス	授業の説明、スケジュールの確認、企業検索、希望職種等の確認	
2	企業説明会	実際の企業による説明会、エントリーなどについて知る	
3	グループ面接について	効果的な自己紹介、他受験者の配慮など	
4	面接練習	グループ面接時間管理、面接練習	
5	グループワークについて	グループワーク（グループディスカッション）を知る	
6	面接練習	グループワーク時間管理、面接練習、プレゼン	
7	面接練習	個人面接	
8	内定後について	内定から入社までの流れ お礼状の書き方 内定後の過ごし方	
成績評価の目安と方法			
各回で実施する課題、授業態度などで総合的に成績評価を行う。			
評価	成績評価別の到達度		
A	自分の考え、作品内容などをまとめ十分に伝えることができる。		
B	自分の考え、作品内容などをまとめ良く伝えることができる。		
C	自分の考え、作品内容などをまとめ伝えることができる。		
D	単位認定不可。		



2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
CAD3		外部講師	
実務経験	科目に関する実務内容		
—	—		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	1
授業概要			
CAD1,CAD2で習得した操作方法を使い簡単な囲み製図の取り組み			
学習到達目標			
アパレル業界で必要不可欠となったアパレルCADを現状の理解とともに操作方法も学習する。			
教科書及び教材			
配布プリント等			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	練習課題1	簡単な囲み製図~操作方法相談	
2	練習課題2	簡単な囲み製図~操作方法相談	
3	練習課題3	簡単な囲み製図~操作方法相談	
4	基本操作4	簡単な囲み製図~操作方法相談	
5	基本操作5	簡単な囲み製図~操作方法相談	
6	対処方法1	困った時の対処方法(ヘルプ)	
7	対処方法2	困った時の対処方法(ヘルプ)	
8	まとめ	操作方法の習得確認	
成績評価の目安と方法			
出席率、受講態度、知識・技術の習得を総合的に評価する。出席回数が2/3未満、もしくは提出課題未了の場合は再履修とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	積極的に授業に参加し、CADの基本操作を使い製図が出来る。		
B	積極的に授業に参加し、CADの基本操作を使い概ね製図が出来る。		
C	授業に参加し、CADの基本操作習得が不十分ではある。		
D	授業の参加が消極的で、CADの基本操作の習得が未熟である。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
立体裁断4		企業パタンナー	
実務経験	科目に関する実務内容		
—	—		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	1
授業概要			
立体裁断による表現実習、アイテム・ディテール研究と実習			
学習到達目標			
作品表現のための応用技術の修得			
教科書及び教材			
洋裁用具、製図用具、鉛筆、3色ボールペン、ノート、他必要に応じて授業内で告知			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	シルエットとディテール1	《アイテム研究》ドレスのパターンと仕立	
2	シルエットとディテール2	《ディテール研究》特殊素材のパターンと仕立	
3	シルエットとディテール3	キュロットスカート	
4	シルエットとディテール4	3枚パネルのジャケット1	
5	シルエットとディテール5	3枚パネルのジャケット2	
6	シルエットとディテール6	変形ダーツスリーブ	
7	シルエットとディテール7	ヨーク続きのダーツスリーブ	
8	シルエットとディテール8	レグオブマトンスリーブ	
成績評価の目安と方法			
技術修得、課題提出、受講姿勢を総合的に評価。受講回数が2/3未満もしくは理解不足と考えられる場合、評価対象外、再履修とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	立体裁断と平面製図のそれぞれの特性と互換性を理解し、トワルを的確に組み上げることができる。		
B	立体裁断と平面製図を理解し、トワルを組み上げることができる。		
C	立体裁断の特性を理解し、ピンワークで表現できる。		
D	ピンワークに未熟な点が多く見られる、課題の未提出、受講状況・姿勢に問題がある。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
帽子製作		日田 泰造	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	担当講師は帽子デザイナーとしての業務経験を生かし、様々なデザインの帽子製作の指導を行う。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	アパレルプロフェッショナル科2年 ファッションスタイリング科2年	1
授業概要			
自分でデザインした帽子の製作。専門的な知識と技術の学習。ショーでのトータルコーディネート。			
学習到達目標			
自分のイメージしたデザインを厳密により正確に早く美しく仕上げる。授業時間内、二個の作品の完成。			
教科書及び教材			
スケッチブック、着色材一式、メジャー。各自製作用素材。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	説明~実習	サンプルの解説、素材の解説、道具の解説、作業工程解説、デザイン	
2	製作作業	型入れ、および製図、型紙作成。	
3	製作作業	製作作業	
4	製作作業	製作作業	
5	製作作業	製作作業	
6	製作作業	製作作業	
7	製作作業	製作作業	
8	製作作業	製作作業~完成。	
成績評価の目安と方法			
技術力、理解力、課題提出を総合的に評価。			
評価	成績評価別の到達度		
A	道具の使用法を理解しデザインに適合した素材を選び正確に美しく期日までに仕上げた。		
B	道具の使用法を理解し作品を期日までに仕上げた。		
C	作品を期日までに仕上げた。		
D	道具、作業工程や素材選び、及び取り扱いなど未熟であるが、作品を期日までに仕上げた。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
インターンシップ		クラス担任	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	インターン先の指導担当は各企業の実務従事者であり、実務に必要な知識と技術を現場で指導する。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	アパレルプロフェッショナル科2年	2
授業概要			
企業で業務体験をし、企業側から評価を受ける授業です。自身の長所短所、希望業務の適性を計る機会にもなります。			
学習到達目標			
新入社員レベルで従事できる意識と行動レベルまで習得を目指します。			
教科書及び教材			
実習報告書 インターン先企業より指示があります。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
	事前指導	参加する上での注意事項、必要書類の記入指導	
	参加準備	参加準備として受け入れ先企業の情報を収集し基礎知識を蓄える	
	インターン実施	企業でインターンシップ	
		指導担当者からの指導 実習報告書記入	
	企業からの評価	企業担当者からのフィードバック	
	まとめ	結果報告会	
成績評価の目安と方法			
企業側担当者による 総合評価			
【評価項目 勤務態度 積極性 探究心 対人関係 理解力 行動力 責任感 所見】			
評価	成績評価別の到達度		
A	企業担当者による総合評価 A取得であり評価項目は全てAである。		
B	企業担当者による総合評価 A取得であるが、評価項目にB評価を含んでいる。		
C	企業担当者による総合評価 B取得		
D	企業担当者による総合評価 C取得		

【ファッションスタイリング科 1年】

スタイリング1	92
スタイリング2	
スタイリング3	
スタイリング企画	95
ビジネスコミュニケーション	96
ファッションビジネス1	97
ファッションコーディネート1	98
ショップマネジメント1	99
ファッションリテール	100
スタイリングマップ1	101
デザイン画1	102
デザイン画2	
ショップリサーチ1	104
ファッションマテリアル1	105
コンピューターグラフィックス1	106
ビジネスマナー	107
フォーマルスペシャリスト	108
リクルートガイダンス1	109
ヘアメイク1	110
スタイリストトレーニング1	111
ファッションビジネス2	112
フロアゾーニング	113
コンピューターグラフィックス2	114
販売士検定2級対策	115
英会話	116

2024 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
スタイリング1		折笠 仁美	
実務経験	科目に関する実務内容		
-	-		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修科目	実習	ファッションスタイリング科1年	4
授業概要			
アイテムの制作実習やアパレル業界にて働く上で、必要な基礎知識、技術を習得する。			
学習到達目標			
アパレルの基礎的な知識・縫製技術を習得することができる。			
教科書及び教材			
ファッションビジネス能力検定試験3級準拠、ファッション辞典、縫製道具一式。その他必要に応じて			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	オリエンテーション、授業評価基準、授業進行	採寸の仕方、パンツ・スカート概要、4/1製図	
2	テキスタイルテクニック	スラッシュキルト制作	
3	デザインインスピレーション①	プリントワーク、イメージカラーージュ	
4	デザインインスピレーション②	イメージカラーージュ	
5	オリジナルパンツ・スカート製作①	パターン制作	
6	オリジナルパンツ・スカート製作②	地直し、裁断、芯貼り、印付け	
7	オリジナルパンツ・スカート製作③	縫製、ダーツ縫い、脇縫い	
8	オリジナルパンツ・スカート製作④	縫製、ファスナー付け	
9	オリジナルパンツ・スカート製作⑤	縫製、ベルト付け	
10	オリジナルパンツ・スカート製作⑥	縫製、仕上げ	
11	オリジナルパンツ・スカート製作⑦	スタイリング、コーディネート提案	
12	ポートフォリオ製作①	ポートフォリオ製作説明・概要	
13	ポートフォリオ製作②	物撮り、撮影	
14	ポートフォリオ製作③	ポートフォリオ製作	
15	ポートフォリオ製作④	ポートフォリオ製作仕上げ	
成績評価の目安と方法			
受講姿勢（30点）理解度・表現力（20点）完成度・クオリティー（50点）授業姿勢、提出課題を評価			
評価	成績評価別の到達度		
A	授業に積極的に参加し、個性的なデザインを作品に的確に表現することができた。作品の完成。		
B	授業に参加し、デザインを作品に表現することができた。作品の完成。		
C	授業に参加し、進行状況に遅れが見られるが、作品は完成。		
D	作品未提出		

## 2024 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
スタイリング2		折笠 仁美	
実務経験	科目に関する実務内容		
-	-		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修科目	実習	ファッションスタイリング科1年	4
授業概要			
スタイリング1で身に着けた基礎を活かし、さらにアパレル業界にて働く上で役立つスキルを身に着ける。コラージュからのデザイン提案。リメイクをとおして服の構造を理解し、分解、再構築をする。			
学習到達目標			
応用的な知識・縫製技術を習得することができる。			
教科書及び教材			
ファッションビジネス能力検定試験3級準拠、ファッション辞典、縫製道具一式。その他必要に応じて			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	オリエンテーション、授業評価基準、授業進行	シャツ・ブラウス概要、リメイク概要	
2	リメイクデザイン提案①	プリントワーク、イメージコラージュ	
3	リメイクデザイン提案②	イメージコラージュ、平絵（ハンガーイラスト）	
4	リメイクシャツ・ブラウス製作①	パターン製作	
5	リメイクシャツ・ブラウス製作②	分解・縫製	
6	リメイクシャツ・ブラウス製作③	分解・縫製	
7	リメイクシャツ・ブラウス製作④	分解・縫製	
8	リメイクシャツ・ブラウス製作⑤	分解・縫製・デコレーション	
9	リメイクシャツ・ブラウス製作⑥	分解・縫製・デコレーション	
10	リメイクシャツ・ブラウス製作⑦	分解・縫製、デコレーション、コーディネート提案	
11	テキスタイルテクニク	ミシステッチ	
12	ポートフォリオ製作2①	物撮り、撮影	
13	ポートフォリオ製作2②	ポートフォリオ製作	
14	ポートフォリオ製作2③	ポートフォリオ製作	
15	ポートフォリオ製作2④	ポートフォリオ製作仕上げ	
成績評価の目安と方法			
受講姿勢（30点）理解度・表現力（20点）完成度・クオリティー（50点）授業姿勢、提出課題を評価			
評価	成績評価別の到達度		
A	授業に積極的に参加し、個性的なデザインを作品に的確に表現することができた。作品の完成。		
B	授業に参加し、デザインを作品に表現することができた。作品の完成。		
C	授業に参加し、進行状況に遅れが見られるが、作品は完成。		
D	作品未提出		

2024 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
スタイリング3		折笠 仁美	
実務経験	科目に関する実務内容		
-	-		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修科目	実習	ファッションスタイリング科1年	4
授業概要			
スタイリング1.2で身に付けた基礎を活かし、さらにアパレル業界にて働く上で役立つスキルを身に付ける。			
学習到達目標			
アパレルの応用的な知識・縫製技術を習得することができる。			
教科書及び教材			
ファッションビジネス能力検定試験3級準拠、ファッション辞典、縫製道具一式。その他必要に応じて			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	オリエンテーション、授業評価基準、授業進行	シャツ・ブラウス概要、リメイク概要	
2	リメイクワーク①	ワッペン製作	
3	リメイクワーク②	ワッペンポーチ製作	
4	トータルコーディネート製作①	パターン製作	
5	トータルコーディネート製作②	裁断、印付け、芯貼り	
6	トータルコーディネート製作③	分解・縫製	
7	トータルコーディネート製作④	分解・縫製	
8	トータルコーディネート製作⑤	分解・縫製・デコレーション	
9	トータルコーディネート製作⑥	分解・縫製・デコレーション、仕上げ	
10	トータルコーディネート製作⑦	分解・縫製、デコレーション、コーディネート提案	
11	ポートフォリオ製作3①	物撮り、撮影	
12	ポートフォリオ製作3②	ポートフォリオ製作	
13	ポートフォリオ製作3③	ポートフォリオ製作仕上げ	
14	プレゼンテーション①	プレゼンテーション資料製作・発表準備	
15	プレゼンテーション②	リメイクシャツ製作発表	
成績評価の目安と方法			
受講姿勢（30点）理解度・表現力（20点）完成度・クオリティー（50点）授業姿勢、提出課題を評価			
評価	成績評価別の到達度		
A	授業に積極的に参加し、個性的なデザインを作品に的確に表現することができた。作品の完成。		
B	授業に参加し、デザインを作品に表現することができた。作品の完成。		
C	授業に参加し、進行状況に遅れが見られるが、作品は完成。		
D	作品未提出		



2024 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
スタイリング企画		折笠 仁美	
実務経験	科目に関する実務内容		
-	-		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修科目	実習	ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
アイテム制作の企画、考案を行う。デザインだけでなく、スタイリング、コーディネートスキルを上げる。			
学習到達目標			
イメージをデザインにおこす力を習得する。			
教科書及び教材			
教員作成資料、配布プリント			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	オリエンテーション、授業評価基準、授業進行、スタイリング1について	デザインの考え方概要（プリントワーク）	
2	ボトムスのデザイン①	デザイン画作成①	
3	ボトムスのデザイン②	デザイン画作成②	
4	ボトムスのデザイン③	イメージカラーージュ①	
5	ボトムスのデザイン④	イメージカラーージュ② デザイン画・イメージカラーージュ提出	
6	スタイリング2について	デザインの考え方概要（プリントワーク）	
7	オリジナルリメイクシャツ①	デザイン画作成①	
8	オリジナルリメイクシャツ②	デザイン画作成②	
9	オリジナルリメイクシャツ③	イメージカラーージュ①	
10	オリジナルリメイクシャツ④	イメージカラーージュ② デザイン画・イメージカラーージュ提出	
11	スタイリング3について	デザインの考え方概要（プリントワーク）	
12	リメイクトータルコーディネート①	デザイン画作成①	
13	リメイクトータルコーディネート②	デザイン画作成②	
14	リメイクトータルコーディネート③	イメージカラーージュ①	
15	リメイクトータルコーディネート④	イメージカラーージュ② デザイン画・イメージカラーージュ提出	
成績評価の目安と方法			
受講姿勢（30点）理解度・表現力（30点）完成度・クオリティー（40点）授業姿勢、提出課題を評価			
評価	成績評価別の到達度		
A	授業に積極的に参加し、個性的なデザインを的確に表現することができた。作品の完成。		
B	授業に参加し、デザインを的確に表現することができた。		
C	授業に参加し、進行状況に遅れが見られるが、デザインは完成。		
D	課題未提出		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ビジネスコミュニケーション		谷口 幸広	
実務経験	科目に関する実務内容		
—	—		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	講義・演習	アパレルプロフェッショナル科1年 ファッションスタイリング科1年	2
授業概要			
【変化が激しい時代のビジネスシーンで、どのように活躍するか】「誰かを輝かせるためのプロになる」を実現するために必要な、①社会を知る(時代や社会状況)②相手を知る(企業や消費者・顧客)③自分を知る(自己)を、ワークショップ・プレゼン・ビジネス最前線に関する視聴・リサーチを通じて得ていく。前述 ①～③のために「情報活用スキル」を実践していく。			
学習到達目標			
上記①～③を理解したうえで、「誰に(企業・顧客・消費者)」「何を(商品・サービス)」「どのように(それぞれの立場・役割で、自分の特性をふまえた方法・手段＝コミュニケーション)」を明確にし、今後の成長計画に結びつけていく。			
教科書及び教材			
毎回講義使用教材を配布(ビジネスシミュレーションゲーム、ワークシート、自己チェックシート、ビジネス記事、企画シート、マイキャリアカード)			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ガイダンス	【1】講義の目的・流れ／講師紹介【2】説明:現在の社会環境／基礎用語定義(共通言語化) 【3】演習:①自己を知る②他者を知る③共通点を見出す	
2	情報	【1】復習【2】説明:情報とは(事実と解釈／一次情報と二次情報)【3】演習:①具体化と言語化 ②情報共有	
3	情報活用スキル	【1】復習【2】説明:情報活用スキル【3】演習:情報活用スキル「収集」編(講義項目に関する情報を集めよう)	
4	環境を知る	【1】復習【2】視聴:ファッション・アパレル業界に関するドキュメンタリー番組【3】演習:①視聴した内容を「事実」と「解釈」にわけると②番組内で出てきた業界の課題を、自分たちならどう解決するかディスカッション。	
5	環境を知る 職種リサーチ2-1	【1】復習【2】演習:①ファッション・アパレル業界に関わる職種・職業に関する情報収集と分類 ②グループごとに発表	
6	環境を知る 職種リサーチ2-2	【1】復習【2】演習:①前回集めた情報から興味関心の高い職種・職業を選択し、より詳しく具体的な情報を集める②その職種・職業に関わる「人」と、どのような関係性になるか?を想像する。	
7	自己理解マイキャリアカード2-1	カードソート「マイキャリアカード」を使い、自己理解を進める。	
8	自己理解マイキャリアカード2-2	カードソート「マイキャリアカード」を使い、自己理解を進める。	
9	相手を知る	【1】復習【2】説明:「欲求」と「価値」	
10	プレゼンテーション2-1	【1】復習【2】社会人インタビューに関する発表【3】演習:価値を創り出す(砂漠で砂を売る他)	
11	プレゼンテーション2-2	【1】復習【2】社会人インタビューに関する発表【3】演習:企画(新しい価値あるものを創造する)	
12	自分を知る／相手を知る	【1】復習【2】説明:付加価値とブランド	
13	自分を知る／相手を知る	【1】復習【2】演習:自分が提供できる価値【3】説明:価値観の共有	
14	総復習	第1回～第13回までの講義内容の総まとめ	
15	試験(企画書)	「誰かを輝かせるファッションのプロ」になるための計画・企画書の作成	
成績評価の目安と方法			
受講態度、提出物、試験を総合的に評価、総合評点が60点以上を合格とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	広い視野で情報収集し、独自の分析をし、相手の立場に立ってプレゼンできる。		
B	見えない情報も推察して情報収集を行い、多角度な視点で分析、編集できる。		
C	情報を収集し、意図をもって編集し、発信できる。		
D	相手の質問意図を汲むことができず一方的な発信、受信になりがち。		

## 2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ファッションビジネス1		奈良 将之・田中 日菜子	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	アパレルブランドを起業させた経験を踏まえ、ファッション業界のビジネス手法や用語を熟知しておりその経験を生かし、知識の習得を指導する。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	講義・演習	アパレルプロフェッショナル科 ファッションスタイリング科	2
授業概要			
ファッションビジネス検定3級の習得を目指します。ファッションビジネスとは繊維製品に新しいデザインが表現するスタイルやイメージなどの付加価値を付けて、生産・流通させ、市場で消費者の感性に訴え、共感を得てファッションを創り出し、成果を得る手段をいいます。授業を通しアパレル業界全体の仕組みを包括、基礎から理解します。			
学習到達目標			
ファッション業界で必要な基礎用語や知識の習得、FB検定試験3級合格			
教科書及び教材			
ファッションビジネス能力検定 3級公式テキスト ファッション辞典			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ファッション・ビジネスの概要	ファッションビジネスの概要 繊維ファッション産業の流れ	
2	ファッション消費と消費者行動	ファッション消費と消費者行動 ライフスタイルとファッション お客様の購買行動	
3	アパレル産業と小売業	ファッションスタイリング科産業の概要 ファッション小売産業の概要	
4	マーケティング	マーケティングの基礎知識 マーケティング上の分類方法 市場調査の基礎知識	
5	マーチャンダイジング	マーチャンダイジング基礎知識 商品企画・生産・販売の流れ 売り場 商品構成の基礎知識	
6	ファッション流通	流通 ファッション小売企業の仕組みと業務	
7	ビジネス基礎知識	会社に関する基礎知識 企業の組織 企業会計 係数知識	
8	模擬テスト	実際の検定試験を意識して前年度検定試験と同じ様式にて実施	
9	ファッション、デザイン、アパレル	ファッション、デザインの定義と特性 アパレルデザインの基礎知識	
10	ファッションスタイリング	コーディネーションの基礎知識	
11	ファッション商品知識	アパレル商品知識（服種、アイテム、シルエット、ディテール）	
12	ファッションデザイン	サイズの知識 繊維の知識	
13	ファッション・エンジニアリング	服飾造形に関する基礎知識 パターンに関する基礎知識	
14	模擬テスト	実際の検定試験を意識して前年度検定試験と同じ様式にて実施	
15	試験対策	模擬試験を踏まえて学習が必要な個所を絞って講義を行います。	
成績評価の目安と方法			
知識の習得、受講姿勢、提出物、ファッションビジネス検定3級試験結果を総合的に評価。出席率60%以上を評価対象とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	ファッションビジネス3級知識を十分に身に付けている。		
B	ファッションビジネス3級知識をおおまかに身に付けている。		
C	ファッションビジネス3級知識を最低限身に付けている。		
D	特定の知識習得が出来ていない。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ファッションコーディネート1		岩崎 清美	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	現役のスタイリストが担当し、トータルコーディネートの手法を指導していく。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	講義・演習	ファッションスタイリング科1年	2
授業概要			
トータルコーディネートの考察。トレンド・テイストを分析し、オリジナルファッションコーディネート表現する。			
学習到達目標			
トータルスタイリング:全身(頭からつま先まで)ファッションの提案アドバイスができる。			
教科書及び教材			
ファッション雑誌、インテリア雑誌ほか印刷物、はさみ、のり、スケッチブック、他			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	「ファッションとは」	トータルコーディネート概論、ファッション分析	
2	2021年s/sトレンド	トレンドファッション分析	
3	イメージ分析1	イメージキーワードによるファッション分析、マップ制作	
4	イメージ分析2	イメージキーワードによる自己ファッション分析、マップ制作	
5	エリア分析1	東京のトレンドエリア ファッション分析	
6	エリア分析2	東京のトレンドエリア ファッション分析コーディネート実習	
7	TPO分析1	冠婚葬祭コーディネートの考察	
8	TPO分析2	冠婚葬祭コーディネート実習	
9	年代別ファッション1	1960～1970年代、1980～1990年代ファッション	
10	年代別ファッション2	1900～1930年代、1940～1950年代ファッション	
11	年代別ファッション3	年代別ファッションコーディネート実習	
12	イメージ・系統分析1	shop制作	
13	イメージ・系統分析2	shop制作	
14	イメージ・系統分析3	shop制作	
15	イメージ・系統分析4	TPO・系統・イメージのまとめ、プレゼンテーション	
成績評価の目安と方法			
授業態度、制作物に取り組む姿勢、トータルファッションの修得。			
評価	成績評価別の到達度		
A	80%以上出席、課題の仕上がり状態が優良、または良、それぞれのトータルコーディネートを修得できた。		
B	60%以上出席、課題の仕上がり状態が良、それぞれのトータルコーディネートを修得できた。		
C	60%以上出席、課題の仕上がり状態が可、それぞれのトータルコーディネートを修得できた。		
D	60%以上出席、課題の仕上がり状態が可または未提出、それぞれのトータルコーディネートの不修得。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ショップマネジメント1		田中 日菜子・齋藤 誠志	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	営業職、販売職等の多岐にわたる業界経験を生かした店舗のマネジメントを実習を通して指導していく。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択必修	講義・演習	ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
期間限定ショップの準備から実施まで行う授業です。前年度の振り返りから課題を見つけ、今年度の自分たちの目標設定し、それに向けての施策を計画し、実行していきます。1年生は次年度に向けて自分たちが実施する上で経験を積むつもりで参加してください。			
学習到達目標			
仕事をする上で必要な、組織として目標達成のために自分自身に何ができるかを考え、行動する力を身につけます。			
教科書及び教材			
設定した目標達成のために、学内備品または各自が使えるものはすべてを有効に使ってください。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	目標の認識	今年度の目標の理解。	
2	目標の認識	今年度の目標の理解。	
3	施策の理解	組織における各ポジションの理解。	
4	中間報告会1	ポジションごとに施策案の事前の最終報告に参加し、今後の動き方の理解を深めます。	
5	施策実行	P DCAサイクルに基づき、施策実行し問題解決にむけ行動します。	
6	中間報告会2	オープン前の最終会議に参加し、最終の進捗を確認します。	
7	販売活動1	各担当日ごとに運営します。	
8	～	～	
9	販売活動1	各担当日ごとに運営します。	
10	検証会議	オープン後、数日経過したところに出てきた問題点や成果を検証し、修正を行います。	
11	販売活動2	検証会議を踏まえて販売活動を行います。	
12	～	～	
13	販売活動2	検証会議を踏まえて販売活動を行います。	
14	最終報告会	今回参加した学生全員が参加して結果報告会の実施。	
15	評価	総括レポートの作成。教員からの評価。	
成績評価の目安と方法			
授業内で説明するルーブリックに沿って評価します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	社会人基礎力が十分に身につき積極的に販売活動が出来るレベルである。		
B	社会人基礎力と販売能力が身につき行動できるレベルである。		
C	社会人基礎力と販売能力は身につつつあるが不十分な部分もある。		
D	社会人基礎力と販売能力の習得はまだ未熟で発展途上である。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ファッションリテール		田中 日菜子	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	新入社員レベルの本格的な指導をする。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択必修	実習	ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
接客の流れを学びます。授業では接客実演を行い知識だけではなく実践し接客方法の習得まで行います。			
学習到達目標			
販売業務理解と接客術の習得			
教科書及び教材			
各授業ごとにレジユメを配布します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	笑顔の作り方・お出迎え	挨拶練習~笑顔の作り方	
2	笑顔の作り方	お客様に合わせたファーストアプローチ	
3	商品知識について	商品知識について セールストーク	
4	クロージングについて	レジ対応やクロージング、リピーターの作り方	
5	接客実演試験についての説明	試験に向けた事前説明。評価基準についての説明。	
6	実演	グループごとに実演	
7	修正	フィードバック、修正	
8	接客実演試験	現役の販売員に向けて接客実演	
成績評価の目安と方法			
笑顔、挨拶、接客の流れで学んできたことが活かされているか。販売トレーナーからの視点で評価します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	笑顔を絶やさず、設定したキャラクターでお客様の心理を考えながらロールプレイングを行えた。		
B	笑顔を絶やさず、設定したキャラクターでロールプレイングを行えた。		
C	ロールプレイングに参加した。		
D	ロールプレイングに参加していない。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
スタイリングマップ1		染谷 明る実	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	プロスタイリストとしてのスタイリング業務の経験を活かし、分析メソッドによる論理的なスタイリングイメージの表現を指導する		
授業科目区分	受講学生		単位
必修	講義・演習	ファッションスタイリング科1年	2
授業概要			
物を色形素材で分析、表現したいスタイリングイメージを論理的に伝える知識の学習			
学習到達目標			
トータルスタイリストジュニアレベル検定合格を目指す 物をテストで見分けることができる、人の外面分析、コミュニケーションタイプを知る			
教科書及び教材			
スタイリングの教科書、Styling Map eラーニング			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	Styling Map概要	オリエンテーション 授業の目的 スタイリングとは	
2	物の分析 色1	Styling Mapとは 物の色の個性を知ろう	
3	物の分析 色2	物の色の個性を分析、ワーク	
4	物の分析 形1	物の形の個性を知ろう	
5	物の分析 形2	物の形の個性を分析、ワーク	
6	物の分析 素材1	物の素材の個性を知ろう	
7	物の分析 素材2	物の素材の個性を分析、ワーク	
8	物の分析 トータル1	Styling Mapを使ってスタイリングしよう、ワーク	
9	物の分析 トータル2	Styling Mapを使ってスタイリングしよう、ワーク	
10	人の分析分類1	人の色の分析分類	
11	人の分析分類2	人の形、素材の分析分類	
12	人の分析分類トータル1	タレント分析	
13	人と物のスタイリングテクニック	分析タレントへの提案スタイリング	
14	コミュニケーションタイプ	人のコミュニケーションの個性を知ろう	
15	検定対策	検定対策ノートのおさらい、eラーニングの練習	
成績評価の目安と方法			
授業態度、理論の理解度、提出物の完成度、テスト、オリジナリティ			
評価	成績評価別の到達度		
A	課題判定A Styling Map理論を理解、物の分析が的確に行え論理的な解説が出来る イメージスタイリングができる		
B	課題判定B Styling Map理論を理解、物の分析が的確に行え論理的な解説が出来る		
C	課題判定C Styling Map理論を理解、物の分析が的確に行える		
D	課題判定D Styling Map理論の理解が十分でなく物の分析を的確に行えない		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
デザイン画1		大谷 順	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	担当講師はアパレルメーカーでのイラストレーション制作業務の実績を踏まえ、実務者の観点からデザイン画の描き方を指導する		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年 ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
アパレル業界におけるデザイン画の重要性を理解して、様々な現場で活用できるよう、デザイン画の基本を学習する。各アイテムのオリジナルデザインを描く。			
学習到達目標			
ファッション画の基本的プロポーション、8頭身ポーズが描けるようになる。基本的なファッションアイテムを描けるようになる。			
教科書及び教材			
教科書 筆記用具 方眼定規 クロッキー帳 デザインパッド ピグマペン コピック 色鉛筆 その他 画材			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ガイダンス 8頭身直立ヌードを描く	クロッキーで描くことに慣れる。教科書を見ながら基本的な8頭身ヌードを描く。	
2	ポーズヌードを描く	教科書の写真のポーズヌードを8頭身で描く。	
3	手、脚、顔を描く。スカートの基本1	手、脚、顔を描く練習をする。平面図を理解しスカートを描く。	
4	基本画材の説明。スカートの基本2	本的な画材を理解し練習する。スカートの基本的な描き方を練習する。	
5	シャツ・ブラウスの基本	シャツ・ブラウスの概論。基本的なシャツ・ブラウスを描き、ペン入れ、着色する。	
6	パンツの基本 1	パンツの概論。基本的なパンツを新しいヌードに着せて描き、着色する。基本的なパンツを新しいヌードに着せて描き、着色する。	
7	パンツの基本 2	ジーパンを新しいヌードに着せて描き、着色する。	
8	平面図	平面図の使い方を理解し、これまでに練習したアイテムを平面図に描く。	
成績評価の目安と方法			
知識・技術習得、受講姿勢、アイテムの基本的な知識と、描き方の技術習得及び、オリジナリティーのあるデザインを評価の対象とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	課題が全て提出されている。各アイテムの描き方を深く理解し、オリジナリティーのあるデザインを描いた。		
B	課題が全て提出されている。各アイテムの描き方を理解し、服の構造を理解したデザインを描いた。		
C	課題が全て提出されている。各アイテムの描き方を理解した。		
D	未提出の課題がある。各アイテムの描き方の理解度が低い。		



2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
デザイン画2		大谷 順	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	担当講師はアパレルメーカーでのイラストレーション制作業務の実績を踏まえ、実務者の観点からデザイン画の描き方を指導する		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年 ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
アパレル業界におけるデザイン画の重要性を理解して、様々な現場で活用できるよう、デザイン画の基本を学習する。各アイテムのオリジナルデザインを描く。			
学習到達目標			
ファッション画の基本的プロポーション、8頭身ポーズが描けるようになる。基本的なファッションアイテムを描けるようになる。			
教科書及び教材			
教科書 筆記用具 方眼定規 クロッキー帳 デザインパッド ピグマペン コピック 色鉛筆その他 画材			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ワンピースの基本1	ワンピースの概論。基本的なワンピースを描き着色する。	
2	ワンピースの基本2	パステルの使い方の基本。ワンピースのオリジナルデザインを描く。	
3	ジャケットの基本1 斜めヌード	ノッチドラペルジャケットを描く。斜めからのポーズにジャケットを着せて描く。	
4	ジャケットの基本2 柄素材の描き方	ピークドラペルジャケットを描く。	
5	コートの基本1	ピーコートとAラインコートを描く。	
6	コートの基本2	トレンチコートを描く。デザイン画に陰影をつけて立体感を出す練習。	
7	写真をデザイン画にする。	4種類の素材感を描く練習。	
8	素材の練習 素材からの発想	自由な頭身で描く。4つの素材感から選び、オリジナルデザインを描く。	
成績評価の目安と方法			
知識・技術習得、受講姿勢、アイテムの基本的な知識と、描き方の技術習得及び、オリジナリティーのあるデザインを評価の対象とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	課題が全て提出されている。各アイテムの描き方を深く理解し、オリジナリティーのあるデザインを描いた。		
B	課題が全て提出されている。各アイテムの描き方を理解し、服の構造を理解したデザインを描いた。		
C	課題が全て提出されている。各アイテムの描き方を理解した。		
D	未提出の課題がある。各アイテムの描き方の理解度が低い。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ショッピングリサーチ		田中 日菜子	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	販売員としての店舗リサーチを学ぶ		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	ファッションスタイリング科	1
授業概要			
アパレル業界の現場にて必要なリサーチ力を学び、提案力を身につけます。			
学習到達目標			
アパレル店舗のリサーチ、分析を行うことができる。 分析結果を用いた提案をすることができる。			
教科書及び教材			
教員作成資料、配布プリント			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	オリエンテーション、授業評価基準	授業概要	
2	春の立ち上がり	事前リサーチ・分析	
3	春の店舗リサーチ	トレンドリサーチ、店舗リサーチ、競合店リサーチ	
4	考察①	分析結果の考察、ゾーニングレポート	
5	夏の立ち上がり	事前リサーチ・分析	
6	夏の店舗リサーチ	トレンドリサーチ、店舗リサーチ、競合店リサーチ	
7	考察②	分析結果の考察、ゾーニングレポート	
8	セールの立ち上がり	事前リサーチ・分析	
9	セール店舗リサーチ	トレンドリサーチ、店舗リサーチ、競合店リサーチ	
10	考察③	分析結果の考察、ゾーニングレポート	
11	秋の立ち上がり	事前リサーチ・分析	
12	秋の店舗リサーチ	トレンドリサーチ、店舗リサーチ、競合店リサーチ	
13	考察④	分析結果の考察、ゾーニングレポート	
14	冬の店舗提案①	分析、考察、ゾーニング提案	
15	冬の店舗提案②	提案レポート提出	
成績評価の目安と方法			
課題提出状況、提案レポートを評価。出席率60%以上を評価対象とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	分析力が身につけており、結果を反映させた提案ができる。		
B	分析力が身につけており、提案ができる。		
C	提案ができる。		
D	提案ができない。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ファッションマテリアル1		吉井 たか子	
実務経験	科目に関する実務内容		
—	—		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	講義・演習	アパレルプロフェッショナル科1年 ファッションスタイリング科1年	2
授業概要			
服飾のマテリアル(素材)を総合的に学びます。			
学習到達目標			
素材に関する知識習得			
教科書及び教材			
授業時配布資料・生地サンプル			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	アパレルと素材	アパレル素材とは	
2	繊維	繊維の分類について 天然繊維と化学繊維	
3	三原組織	織物の構造・組織	
4	編地	編地の分類と名称	
5	織物服地	主要織物の名称と風合い・材質感	
6	//	//	
7	//	//	
8	//	//	
9	//	//	
10	//	//	
11	//	//	
12	染色・仕上げ・加工	仕上げ・加工の種類染色の工程・種類	
13	織柄・プリント	織柄の名称 プリント柄の名称	
14	筆記試験		
15	まとめ		
成績評価の目安と方法			
服地の基礎知識(名称・分類等)の理解度・授業姿勢			
評価	成績評価別の到達度		
A	服地の基礎知識を良く理解し、ベーシックな素材の特徴を表現できる。		
B	服地の基礎知識を理解し、ベーシックな素材の特徴を表現できる。		
C	服地の基礎知識を理解している。		
D	服地の基礎知識の理解が不足している。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
コンピューターグラフィックス1		奈良 将之	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	担当講師はアパレルメーカーのCGを生かしたデザイン業務の実績を踏まえ、実務者の観点からCGの実習を指導する。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年 ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
Macintosh の基本操作をはじめ、Adobe PhotoshopやAdobe illustratorの基本操作、各種ソフトの特徴を理解して目的に応じた適切な方法を選択し、仕上げるまでの授業を副教材を用いて行います。			
学習到達目標			
CGの基本的操作方法を習得			
教科書及び教材			
解説プリント及び見本、トレーニングファイル			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	オリエンテーション	PCルーム、システム、各種ソフトの使用方法和注意事項	
2	Adobe Photoshop1	用紙設定、各種ツール説明、レイヤー、フィルターをはじめとする主な操作方法、保存、プリントアウト、イラストレーターとの互換性を副教材を使用し修得する。	
3	Adobe Photoshop2	応用	
4	Adobe illustrator1	用紙設定、各種ツール説明、写真の配置と文字の重ね方をはじめとする主な操作方法、保存、プリントアウト、フォトショップとの互換性を副教材を使用し修得する。	
5	Adobe illustrator2	応用	
6	デザイン実習1	デザイン実習	
7	デザイン実習2	デザイン実習	
8	デザイン実習3	作品の仕上げ、完成データ提出	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢を総合的に評価する。			
評価	成績評価別の到達度		
A	Adobe Photoshopの基本的機能を理解、作品に反映されている。		
B	Adobe Photoshopの基本的機能をおおむね理解、作品に反映されている。		
C	Adobe Photoshopの基本的機能を最低限理解している。		
D	特定の技術習得ができていない。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ビジネスマナー		福田 敬子	
実務経験	科目に関する実務内容		
—	—		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	講義・演習	ファッションスタイリング科1年	2
授業概要			
知識としての習得と行動ができることを目指し、授業は講義と演習で行なっていきます。			
学習到達目標			
新入社員レベルの企業人としての姿勢、言葉使いを身につける。			
教科書及び教材			
授業のたびに資料プリントを配布します。筆記用具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ビジネスマナー入門	・マナーとは何かを考える・マナーの歴史・本校のマナーに対する取り組み意識	
2	企業とは?	・社会人の心構え 社会人と学生の違い・社会人として求められるもの	
3	企業の中でのルールとは?	・現在の労働状況を取り巻く事情 働き方・・・アルバイト・パートも社保加入?	
4	【言葉遣い】	【敬語各種 1】 具体的な言い換え練習	
5	【言葉遣い】	【敬語各種 2】 クッション言葉	
6	【言葉遣い】	【敬語各種 3】 『名詞』 具体的な言い換え練習	
7	【言葉遣い】	【敬語各種 1】 小テスト 20分	
8	【言葉遣い】	会社の看板としての対応基礎 【電話対応】	
9	【言葉遣い】	お客様に対する言い換え	
10	【言葉遣い】	クレームを受ける	
11	【面接に行く!】	・教える前に、ペアで挨拶してみる・お辞儀の種類・挨拶・・・言葉遣い、お辞儀・入退出	
12	【面接に行く!】	・面接の準備基礎・身だしなみ	
13	【面接に行く!】	実践練習 1	
14	【面接に行く!】	実践練習 2	
15	【面接に行く!】	実践練習 3 総括復習	
成績評価の目安と方法			
筆記試験による成績評価 60点以上で単位取得			
評価	成績評価別の到達度		
A	筆記試験81~100点		
B	筆記試験71~80点		
C	筆記試験60~70点		
D	筆記試験59点以下		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
フォーマルスペシャリスト準2級検定		松山 由未	
実務経験	科目に関する実務内容		
—	—		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	講義・演習	ファッションスタイリング科1年	2
授業概要			
フォーマルスペシャリスト準2級(ブロンズライセンス)認定試験対策講座			
学習到達目標			
フォーマルシーンでのルール、マナーを学び、幅広い知識の修得とフォーマルウェアライセンスの取得			
教科書及び教材			
フォーマルウェアルールブック、3色ボールペン、付箋紙、他必要に応じて授業内で告知			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	オリエンテーション	授業進行、評価基準、フォーマルウェア概要	
2	フォーマルの定義	プロトコール、T・P・O、オケージョン	
3	フォーマルライフスタイル	シーンとセレモニー、国際儀礼	
4	フォーマルの歴史	17世紀ヨーロッパから20世紀日本	
5	正礼装1	昼の正礼装	
6	正礼装2	夜の正礼装	
7	昼のフォーマルシーン1	正礼装、準礼装、略礼装	
8	夜のフォーマルシーン1	正礼装、準礼装、略礼装	
9	ブライダルフォーマルシーン	正礼装、準礼装、略礼装	
10	弔事のフォーマルシーン	正喪服、準喪服、略喪服	
11	和装	和装と洋装	
12	昼のフォーマルシーン2		
13	夜のフォーマルシーン2		
14	フォーマルウェアメニュー	アイテムとアクセサリー	
15	まとめ		
成績評価の目安と方法			
正しい知識の修得、受講姿勢、認定試験結果を総合的に評価。受講回数が2/3未満もしくは理解不足と考えられる場合、評価対象外、再履修とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	フォーマルシーンのルールを積極的に学び、知識を修得、認定試験に高得点で合格している。		
B	フォーマルシーンのルールを学び、知識を修得、認定試験に合格している。		
C	フォーマルシーンの知識を学び、理解している。		
D	フォーマルシーンの知識を学んだが理解が不足している、受講状況に問題がある。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
リクルートガイダンス1		奈良 将之	
実務経験	科目に関する実務内容		
	2年次に実践される就職活動にていち早く内定を決定するための準備をする。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	講義・演習	アパレルプロフェッショナル科1年生 ファッションスタイリング科1年生	2
授業概要			
就職希望者が就職活動においての知識と技術を身に付けることを目的とします。			
学習到達目標			
就職活動の内容を理解し、採用試験の準備ができるようになる事を目指します。			
教科書及び教材			
テキストは使用しない。必要に応じてプリントを配布します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	オリエンテーション	ファッション業界の職種・業態の理解	
2	自己分析/グループワーク	他人から見た自分。第三者から評価をしてもらい正しく自己PRに活かす。	
3	自己PR作成1	就職活動用の文章の書き方を理解する。	企業研究1（自分の理想企業を探し出す。）
4	自己PR作成2		
5	職種理解1	販売職を知る1	
6	職種理解2	企画職を知る	
7	職種理解3	技術職を知る	
8	職種理解4	販売職を知る2 (株)レイカズン	
9	履歴書作成1	相手先企業の企業理念を理解し それに対応する文章作成。	企業研究2（職種理解を受けた上で 自分の理想企業を探し出す。）
10	履歴書作成2		
11	エントリーシートについて	ES用の写真を撮影加工。 (株)レイカズン	
12	連絡方法について	メール・電話、職場訪問時についての注意点。 (株)レイカズン	
13	グループディスカッション	各グループに分かれて取り組み理解を深める。 (株)レイカズン	
14	面接準備	返答準備、面接官の視点を理解する。 (株)レイカズン	
15	面接準備	集団面接と個人面接の練習をする。 (株)レイカズン	
成績評価の目安と方法			
各回で実地する課題、授業態度などで総合的に成績評価を行う。			
評価	成績評価別の到達度		
A	就職活動について十分に理解し、採用試験の準備が出来る。		
B	就職活動について良く理解し採用試験の準備が出来る。		
C	就職活動について理解し必要書類を最低限書く事ができる。		
D	単位認定不可		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ヘアメイク1		藤里 真菜美	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	現役のメイクアップアーティストが担当し、スキンケアから服に合わせたヘアメイクの手法を指導していく。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択必修	実習	ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
相モデルで基本的なヘアメイク姿勢、接し方、テクニックを学び、ヘアメイクを通してコミュニケーション能力も身につける。			
学習到達目標			
基本的なヘアメイクを学び、一人一人の顔の特徴を理解しイメージに合うヘアメイクを修得する			
教科書及び教材			
【KP】メイク用テキスト、メイク用品一式【学内物品】ブラシ類、ピン類、ダッカール、シングルピン、ストレートアイロン、カールアイロン（19ミリ、25ミリ、32ミリ）、ホットカーラー、ドライヤー			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ヘアメイク道具説明/スキンケア/ヘア説明	ヘアメイク道具の説明、スキンケア、マッサージ、ヘアピン、ゴムの使い方	
2	ベースメイク/ヘア説明	ベース、ハイライト、ローライト、カールアイロンの使い方	
3	アイブロウ、アイメイク	アイブロウの形、書き方、アイメイクの種類、仕方	
4	チーク、リップ	チーク、リップの種類、仕方	
5	ナチュラルメイク/ヘア説明	フルメイク（ナチュラルメイク）、ブローorヘアセット方法	
6	イメージメイクソフト/ヘア説明	イメージメイクの方法それに合うヘアスタイル	
7	イメージメイクシャープ/ヘア説明	イメージメイクの方法それに合うヘアスタイル	
8	技術チェック	イメージメイクソフト、シャープで得意な方を選んでもらい、モデルに合うヘアメイクができているか	
成績評価の目安と方法			
受講姿勢やヘアメイク技術、コミュニケーション能力を総合的に評価します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	80%以上の出席、要求したヘアメイクを期待以上にできた。		
B	60%以上の出席、要求したヘアメイクを期待通りできた。		
C	60%以上の出席、要求したヘアメイクを部分的にできた。		
D	60%未満の出席、要求したヘアメイクを期待通りできなかった。		



2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
スタイリストトレーニング1		岩崎 清美	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	現役のスタイリストによる現場で必要となる知識、技術、スタイリストとして姿勢を指導する。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択必修	講義・演習	ファッションスタイリング科1年	2
授業概要			
スタイリスト及びアシスタント・販売士・の即戦力となる、概念・実技を学ぶ			
学習到達目標			
スタイリストの知識と技術の修得			
教科書及び教材			
スタイリストの七つ道具、他			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	スタイリストの仕事	概要説明	
2	スタイリストのコーディネート論	サイズの測り方	
3	コーディネートテクニック	小物のアレンジ	
4	コーディネートテクニック	ホワイトコーデ	
5	コーディネートテクニック	テーマ編	
6	コーディネートテクニック	テーマ編	
7	靴の底張り	実習	
8	七つ道具	タグ管理	
9	ショッピングリサーチ	エリア別ショッピングリサーチ	
10	コーディネートテクニック	エリア別コーディネート実習	
11	コーディネートテクニック	テーマ編	
12	体型別コーデ	体型別コーデ	
13	コーディネートテクニック	体型別コーデ実習編	
14	コーディネートテクニック	切り抜きコーデ	
15	コーディネートテクニック	面接コーデ	
成績評価の目安と方法			
授業態度、プレゼンテーション			
評価	成績評価別の到達度		
A	スタイリスト・販売士としての知識・技術を修得し、オリジナルスタイリング提案ができる。		
B	スタイリスト・販売士としての知識・技術を修得し、スタイリング提案ができる。		
C	スタイリスト・販売士としての知識・技術を理解できる。		
D	スタイリスト・販売士としての知識・技術を部分的に修得し、理解する事ができた。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ファッションビジネス2		奈良 将之・田中日菜子	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	アパレルブランドを起業させた経験を踏まえ、ファッション業界のビジネス手法や用語を熟知しておりその経験を生かし、知識の習得を指導する。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択必修	講義・演習	ファッションスタイリング科1年	2
授業概要			
ファッションビジネス検定2級合格を目指します。また、進歩・変革し続け、絶えざる創造を必要とするファッションビジネスの世界で活躍する際に必要となる専門的な知識を身につけ、将来活躍するアパレル企業・業界にて活躍出来るように備えます。			
学習到達目標			
ファッション業界に必要な基礎用語や知識の習得。FB検定2級を取得する。			
教科書及び教材			
ファッションビジネス能力検定試験2級準拠 ファッション辞典 服地がわかる事典			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ファッション・ビジネスの特性	ファッションビジネスの事業特性 変遷 環境変化 近年動向	
2	ファッション生活・消費 1	ファッション消費行動を形成する要素	
3	ファッション生活・消費 2	ファッション消費の変遷と現在	
4	計算問題演習1	係数を理解する1	
5	ファッション産業構造	グローバルな視点でとらえたアパレル産業	
6	計算問題演習2	係数を理解する2	
7	マーケティング 1	ファッション消費行動を形成する要素	
8	マーケティング 2	ファッション消費の変遷と現在	
9	計算問題演習3	係数を理解する3	
10	マーチャンダイジング 1	アパレルマーチャンダイジングとリテールマーチャンダイジング	
11	マーチャンダイジング 2	ファッション情報の収集・分析 価格と原価	
12	計算問題演習4	係数を理解する4	
13	模擬試験	ファッション・ビジネスの特性～マーチャンダイジングまでの模擬試験	
14	模擬試験 解答・解説	解答 解説	
15	模擬試験対策	傾向 対策	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢を総合的に評価			
評価	成績評価別の到達度		
A	ファッションビジネス(MDまで)、造形(素材、副資材まで)とも2級の知識を十分に身につけている。		
B	ファッションビジネス(MDまで)、造形(素材、副資材まで)とも2級の知識をおおまかに身につけている。		
C	ファッションビジネス(MDまで)、造形(素材、副資材まで)とも2級の知識を最低限身につけている。		
D	特定の知識習得が出来ていない。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
フロアゾーニング		田中 日菜子	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	アパレル現場において必要なゾーニング知識を学ぶ。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	講義・演習	ファッションスタイリング科1年生	1
授業概要			
アパレル現場において必要なゾーニング知識を学ぶ。 トルソーの着せ方やラック構成 売り場全体のゾーニングを学びます。			
学習到達目標			
ゾーニング知識を理解した上でゾーニング提案ができる。			
教科書及び教材			
教員作成資料、配布プリント			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	オリエンテーション、授業評価基準	授業概要 成績評価基準の説明	
2	トルソーの着せ付け	店舗内でのトルソーの着せ付け	
3	ディスプレイ技術	フォーミング パディング ピンニング レイアウト	
4	ディスプレイ技術	ギフト提案売り場演習	
5	IP構成①	季節の立ち上がりIP構成演習 GP理解	
6	IP構成②	繁忙期 IP構成演習 GP理解	
7	PP構成①	季節の立ち上がりPP構成演習	
8	PP構成②	繁忙期 PP構成演習	
9	ハンギング構成①	季節の立ち上がりハンギング構成演習	
10	ハンギング構成②	繁忙期 ハンギング構成演習	
11	ゾーニング提案①	ゾーニング提案レポート グループワーク	
12	ゾーニング提案②	ゾーニング提案レポート グループワーク	
13	ゾーニング提案実践①	レポート内容実践①	
14	ゾーニング提案実践②	レポート内容実践②	
15	ゾーニング提案実践③	レポート内容実践③	
成績評価の目安と方法			
レポート内容、提案店舗のゾーニング仕上がりを評価。 出席率60%以上を評価対象とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	技術が身についており、ゾーニング提案の仕上がりが模範的。		
B	技術が身についており、ゾーニング提案ができる。		
C	技術は不十分だが、ゾーニング提案はできる。		
D	技術、ゾーニング提案とも知識が不十分である。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
コンピューターグラフィックス2		奈良 将之	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	担当講師はアパレルメーカーのCGを生かしたデザイン業務の実績を踏まえ、実務者の観点からCGの実習を指導する。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	アパレルプロフェッショナル科1年 ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
必修科目コンピューターグラフィックス1で学んだ基本操作の復習と、主にシルクスクリーン手法を使用したオリジナルデザインプリントを製作し、更なる知識、技術の追求を深めます。			
学習到達目標			
道具としてCGが使える力を身につける。			
教科書及び教材			
作品見本illustratorファイル、他			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ソフトの互換性について	Adobe illustrator、Photoshopの基本操作復習	
2	Adobe illustrator技術習得1	デザイン実習1と復習、シルクスクリーンプリントの構造説明	
3	Adobe illustrator技術習得2	デザイン実習2と復習、デザイン相談	
4	CGデザイン実習	デザイン実習3と復習	
5	シルクスクリーン製作	シルクスクリーン版の製作	
6	シルクスクリーンプリント	インク配合とプリント実習	
7	CGデザイン実習	CG2最終作品を完成させる為のチュートリアル	
8	テスト	Adobe illustrato作品製作	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢を総合的に評価する。			
評価	成績評価別の到達度		
A	Adobe illustrator、Photoshopの基本的機能、互換性を理解、作品に反映されている。		
B	Adobe illustrator、Photoshopの基本的機能、互換性を理解をおおむね理解、作品に反映されている。		
C	Adobe illustrator、Photoshopの基本的機能を最低限理解、作品に反映されている。		
D	特定の技術習得ができていない		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
販売士検定2級対策講座		福田 誠一	
実務経験	科目に関する実務内容		
—	—		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	講義・演習	ファッションスタイリング科1年	2
授業概要			
1テキスト本位の単なる「受験対策講座」ではなく、テキストの内容を実在する企業のケース事例や戦略に例えて解説講義を実施。誰もが知っている具体的な有名企業の事例として説明することで、より分かりやすく、より興味を持たせる授業を実施。2試験直前対策として、「出題予想模擬試験」及び「解答解説講義」を実施。			
学習到達目標			
販売業務全般の理解。販売士検定2級取得。			
教科書及び教材			
講義用教材として出題率80%以上と規定されている「販売士2級ハンドブックセット(日本商工会議所編集)」を使用。その他の配布用教材 1講義毎レジュメ 2重要キーワードチェックリスト 3出題予想模擬試験問題、及び解答解説集			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	小売業の類型	・流通と小売業の役割・流通経路政策	
2	小売業の類型	・組織形態別小売業の運営特性・店舗形態別小売業の運営特性	
3	小売業の類型	・チェーンストアの目的と運営・商業集積の運営特性	
4	マーチャンダイジング	・仕入計画の立案と運用システム・戦略的商品計画の立案	
5	マーチャンダイジング	・価格設定の方法・商品管理の実際	
6	マーチャンダイジング	・販売計画の立案と管理・小売業の物流システム	
7	ストアオペレーション	・店舗運営サイクルの実践と管理・戦略的購買促進の実施方法	
8	ストアオペレーション	・戦略的ディスプレイの実施方法・レイバースケジューリングプログラムの役割としくみ	
9	マーケティング	・小売業のマーケティングミックス・マイクロマーケティングの展開方法	
10	マーケティング	・マーケティング戦略の方法・マーケティングリサーチの実施方法・商圈分析の立案と実施方法	
11	マーケティング	・出店戦略の立案と実施方法・販売促進策の企画と実践	
12	直前対策	・模擬試験問題の解答解説(小売業の類型)	
13	直前対策	・模擬試験問題の解答解説(マーチャンダイジング/ストアオペレーション)	
14	直前対策	・模擬試験の解答解説(マーケティング)	
15	直前対策	・模擬試験の解答解説	
成績評価の目安と方法			
受講状況と検定試験平均点の合計点で評価			
評価	成績評価別の到達度		
A	販売士2級検定試験 平均点70点以上取得		
B	販売士2級検定試験 平均点60点以上取得		
C	販売士2級検定試験 平均点50点以上取得		
D	販売士2級検定試験 平均点49点以下取得		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
英会話		日米会話学院	
実務経験	科目に関する実務内容		
—	—		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	講義・演習	ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
ネイティブの講師による売り場で使える英会話の授業です。			
学習到達目標			
外国人のお客様と積極的に英語で商品説明やコミュニケーションをとることができることを目標に行います。			
教科書及び教材			
必要に応じて資料を配布します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	お迎え 挨拶	お迎え 挨拶を学びます。	
2	色を伝える	色についての説明を学びます。	
3	形やデザインを伝える	形やデザインについての説明を学びます。	
4	サイズを伝える	サイズについての説明を学びます。	
5	素材を伝える	素材についての説明を学びます。	
6	試着をすすめる	試着のすすめ方、試着後の対応を学びます。	
7	簡単なコミュニケーション会話	売り場での使える簡単なコミュニケーション会話を学びます。	
8	まとめ	確認テストを実施します	
成績評価の目安と方法			
毎回の授業への出席、参加姿勢と習得状況のチェックで評価していきます。			
評価	成績評価別の到達度		
A	授業内で学んだ英語を活かした接客を積極的に行うことができる。		
B	英語を積極的に使ってコミュニケーションをとる姿勢を身につけている。		
C	全ての授業に参加した。		
D	2/3以上の授業に参加した。		

【ファッションスタイリング科 2年】

スタイリストワーク1	118
スタイリストワーク2	
スタイリストワーク3	
ファッションコーディネート2	121
ショップマネジメント2	122
ショップリサーチ2	123
リクルートガイダンス2	124
ファッションマーケティング	125
スタイリングマップ2	126
ヘアメイク2	127
スタジオワーク	128
ファッションビジネス3	129
ヴィジュアルマーチャンダイジング	130
スタイリストトレーニング2	131
アパレルインターンシップ	132
帽子製作	133

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
スタイリストワーク1		齋藤 誠志・佐々木 しづえ	
実務経験	科目に関する実務内容		
—	—		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	ファッションスタイリング科2年	4
授業概要			
<p>期間限定ショップに向けた商品製作課題です。デザインから縫製まで自ら行います。 前半の10回は企画デザイン、その後の50回はパターン、縫製等の製作の時間として使います。</p>			
学習到達目標			
販売時期やファッショントレンドを考慮した商品を製作し、出来上がった商品の価値を明確に説明できることを目標とする。			
教科書及び教材			
担当教員より、進行に伴い必要に応じて指示します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	企画デザイン1	期間限定ショップの目的説明~何をやるべきかの理解を促す	
2	企画デザイン2	各自のデザイン製作~個別指導、技術相談	
3	企画デザイン3	クラス内での企画内容プレゼンテーション	
4	製作相談	使用素材や製作方法についての個別相談	
5	裁断 縫製	各自作業	
6	途中段階でのチェック	進行状況の確認	
7	完成チェック	企画・製作意図及び完成度をチェックする。	
8	終了レポート提出	次回の課題に生かす為、行ってきた事と反省をレポートにまとめる	
成績評価の目安と方法			
企画段階50点・製作段階50点の合計点で評価(評価ポイント知識・技術の習得、授業姿勢、作品のクオリティ)			
評価	成績評価別の到達度		
A	時代感を感じさせ、且つ個性的なファッション商品を生み出し、その内容をプレゼンテーションで説明できた。		
B	個性的なファッション商品を生み出し、その内容をプレゼンテーションで説明できた。		
C	授業に参加し、個性的なファッション商品を生み出すことができた。		
D	授業に参加し、ファッション商品を生み出すことができた。		



2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
スタイリストワーク2		齋藤 誠志・佐々木 しづえ	
実務経験	科目に関する実務内容		
—	—		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	ファッションスタイリング科2年	4
授業概要			
コレクション作品の製作課題です。デザインから縫製まで自ら行います。 前半の10回は企画デザイン、その後の50回はパターン、縫製等の製作の時間として使います。			
学習到達目標			
トータルコーディネートでプランニングした作品を製作し、出来上がった作品のポイントを説明できることを目標とする。。			
教科書及び教材			
担当教員より、進行に伴い必要に応じて指示します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	企画デザイン1	コレクションの目的説明~何をやるべきかの理解を促す。	
2	企画デザイン2	各自のデザイン製作~個別指導、技術相談	
3	企画デザイン3	クラス内での企画内容プレゼンテーション	
4	製作相談	使用素材や製作方法についての個別相談	
5	裁断 縫製	各自作業	
6	途中段階でのチェック	進行状況の確認	
7	完成チェック	企画・製作意図及び完成度をチェックする。	
8	終了レポート提出	次回の課題に生かす為、行ってきた事と反省をレポートにまとめる	
成績評価の目安と方法			
企画段階50点・製作段階50点の合計点で評価(評価ポイント知識・技術の習得、授業姿勢、作品のクオリティ)			
評価	成績評価別の到達度		
A	時代感を感じさせ、且つ個性的なファッションを生み出し、その内容をプレゼンテーションで説明できた。		
B	個性的なファッションを生み出し、その内容をプレゼンテーションで説明できた。		
C	授業に参加し、個性的なファッションを生み出すことができた。		
D	授業に参加し、ファッションを生み出すことができた。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
スタイリストワーク3		齋藤 誠志・佐々木 しづえ	
実務経験	科目に関する実務内容		
—	—		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	ファッションスタイリング科2年	4
授業概要			
<p>学園祭で発表する卒業作品の製作課題です。デザインから縫製まで自ら行います。 前半の10回は企画デザイン、その後の50回はパターン、縫製等の製作の時間として使います。</p>			
学習到達目標			
<p>トータルコーディネートでプランニングした作品を製作し、出来上がった作品のポイントを説明できることを目標とする。</p>			
教科書及び教材			
<p>担当教員より、進行に伴い必要に応じて指示します。</p>			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	企画デザイン1	卒業記念コレクションの目的説明~何をやるべきかの理解を促す	
2	企画デザイン2	各自のデザイン製作~個別指導、技術相談	
3	企画デザイン3	クラス内での企画内容プレゼンテーション	
4	製作相談	使用素材や製作方法についての個別相談	
5	裁断 縫製	各自作業	
6	途中段階でのチェック	進行状況の確認	
7	完成チェック	企画・製作意図及び完成度をチェックする。	
8	終了レポート提出	今年度のまとめとして、行ってきた事と反省をレポートにまとめる	
成績評価の目安と方法			
<p>企画段階50点・製作段階50点の合計点で評価(評価ポイント知識・技術の習得、授業姿勢、作品のクオリティ)</p>			
評価	成績評価別の到達度		
A	時代感を感じさせ、且つ個性的なファッションを生み出し、その内容をプレゼンテーションで説明できた。		
B	個性的なファッションを生み出し、その内容をプレゼンテーションで説明できた。		
C	授業に参加し、個性的なファッションを生み出すことができた。		
D	授業に参加し、ファッションを生み出すことができた。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ファッションコーディネート2		岩崎 清美	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	現役のスタイリストがトータルコーディネートの手法を指導していく。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	講義・演習	ファッションスタイリング科2年	2
授業概要			
トレンド・テイスト・時代・パーソナルを考え、個人に合ったトータルコーディネートの考察			
学習到達目標			
オールマイティーなシチュエーションを考え、個人に合ったトータルコーディネートの提案ができる。			
教科書及び教材			
ファッション雑誌、インテリア雑誌他印刷物、はさみ、のり、スケッチブック、必要に応じた文房具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	トータルコーディネート論	コーディネートを理論的に考える	
2	トータルコーディネート1	体型別・タイプ別コーディネート	
3	トータルコーディネート2	体型別・タイプ別コーディネート実習	
4	コーディネートテクニク	SNSコーディネートの考察	
5	コーディネートテクニク	ZOOMコーディネートの考察	
6	コーディネートテクニク	インスタグラムコーディネートの考察、写真撮影	
7	コーディネートテクニク	インスタグラムコーディネートプレゼンテーション	
8	My shop企画	トレンド・テイストを考えshopを作る	
9	My shop企画雑誌広告1	ファッションを雑誌広告に落とし込む	
10	My shop企画雑誌広告2	ファッションを雑誌広告に落とし込む	
11	My shop企画雑誌広告3	コンセプトと撮影衣装の考察	
12	My shop企画雑誌広告4	撮影実習①	
13	My shop企画雑誌広告4	撮影実習②	
14	My shop企画校正	写真加工	
15	My shop企画	プレゼンテーション	
成績評価の目安と方法			
授業態度、制作物に取り組む姿勢、トータルファッションの修得			
評価	成績評価別の到達度		
A	80%以上出席、課題の仕上がり状態が優良または良、それぞれのファッションイメージを修得できた。		
B	60%以上出席、課題の仕上がり状態が良、それぞれのファッションイメージを修得できた。		
C	60%以上出席、課題の仕上がり状態が可、それぞれのファッションイメージを修得できた。		
D	60%以上出席、課題の仕上がり状態が可または未提出、それぞれのファッションイメージの不修得。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ショップマネジメント2		田中 日菜子・齋藤 誠志	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	営業職、販売職等の多岐にわたる業界経験を生かした店舗のマネジメントを実習を通して指導していく。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択必修	実習	ファッションスタイリング科2年	3
授業概要			
期間限定ショップの準備から実施まで行う授業です。前年度の振り返りから課題を見つけ、今年度の自分たちの目標を設定し、それに向けての施策を計画し、実行していきます。			
学習到達目標			
仕事をする上で必要な、組織として目標達成のために自分自身に何ができるかを考え、行動する力を身につけます。			
教科書及び教材			
設定した目的達成のために、学内備品または各自が使えるものすべてを有効に使ってください。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	目標設定	組織の説明・今年度の目標設定・組織の各ポジション希望調査の実施。	
2	運営ポジションの決定	希望を踏まえて各ポジションの発表を行います。	
3	施策設定	各ポジションごとに全体の目標に向けて具体的な施策案を考えます。	
4	施策発表・計画会議	各ポジションごとに具体的な施策案を発表し、さらなる施策の検討を進めます。	
5	施策発表・中間報告会1	ポジションごとに施策案の事前の最終報告を行います。	
6	施策実行(進捗確認)	PDCAサイクルに基づき、施策実行し問題解決にむけ行動します。(朝礼・終礼を行い進捗確認をおこなう。)	
7	中間報告会2	オープン前の最終会議を行います。	
8	前日準備	オープン準備。商品・備品・什器の搬入。店内レイアウト等を全て整えます。	
9	販売活動1	各担当日ごとに運営します。	
10	検証会議	オープン後、数日経過したところで出てきた問題点や成果を検証し、修正を行います。	
11	販売活動2	検証会議を踏まえて販売活動を行います。	
12	撤収作業	商品、備品類の撤収準備から撤収作業。作品返却・返品作業	
13	ポジション反省会	各ポジションごとに反省会の実施。	
14	最終結果報告会	今回参加した学生全員が参加しての最終結果報告会の実施。	
15	評価	総括レポートの作成。教員からの評価。	
成績評価の目安と方法			
授業内で説明するルーブリックに沿って評価します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	社会人基礎力と販売能力が十分に身につく模範的行動ができるレベルである。		
B	社会人基礎力と販売能力が十分に身につく行動できるレベルである。		
C	社会人基礎力と販売能力が十分に身につくが不十分な部分もある。		
D	社会人基礎力と販売能力の習得はまだ未熟で発展途上である。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ショッピングリサーチ		田中 日菜子	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	販売員としての店舗リサーチを学ぶ		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	ファッションスタイリング科	1
授業概要			
アパレル業界の現場にて必要なリサーチ力を学び、提案力を身につけます。			
学習到達目標			
アパレル店舗のリサーチ、分析を行うことができる。 分析結果を用いた提案をすることができる。			
教科書及び教材			
教員作成資料、配布プリント			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	オリエンテーション、授業評価基準	授業概要	
2	春の立ち上がり	事前リサーチ・分析	
3	春の店舗リサーチ	トレンドリサーチ、店舗リサーチ、競合店リサーチ	
4	考察①	分析結果の考察、ゾーニングレポート	
5	夏の立ち上がり	事前リサーチ・分析	
6	夏の店舗リサーチ	トレンドリサーチ、店舗リサーチ、競合店リサーチ	
7	考察②	分析結果の考察、ゾーニングレポート	
8	セールの立ち上がり	事前リサーチ・分析	
9	セール店舗リサーチ	トレンドリサーチ、店舗リサーチ、競合店リサーチ	
10	考察③	分析結果の考察、ゾーニングレポート	
11	秋の立ち上がり	事前リサーチ・分析	
12	秋の店舗リサーチ	トレンドリサーチ、店舗リサーチ、競合店リサーチ	
13	考察④	分析結果の考察、ゾーニングレポート	
14	冬の店舗提案①	分析、考察、ゾーニング提案	
15	冬の店舗提案②	提案レポート提出	
成績評価の目安と方法			
課題提出状況、提案レポートを評価。出席率60%以上を評価対象とする。			
評価	成績評価別の到達度		
A	分析力が身につけており、結果を反映させた提案ができる。		
B	分析力が身につけており、提案ができる。		
C	提案ができる。		
D	提案ができない。		

## 2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
リクルートガイダンス2		奈良 将之	
実務経験	科目に関する実務内容		
-	2年次に実践される就職活動にていち早く内定を決定するための準備をする。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修/選択	講義・演習	アパレルプロフェッショナル科2年 ファッションスタイリング科2年	1
授業概要			
リクルートガイダンス1で学んだことを基礎とし、実践的に就職試験の対策を行う。			
学習到達目標			
希望する企業の内定取得。			
教科書及び教材			
テキストは使用しません。必要に応じてプリントを配布します。また適宜参考文献等を紹介しします。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ガイダンス	授業の説明、スケジュールの確認、企業検索、希望職種等の確認	
2	企業説明会	実際の企業による説明会、エントリーなどについて知る	
3	グループ面接について	効果的な自己紹介、他受験者の配慮など	
4	面接練習	グループ面接時間管理、面接練習	
5	グループワークについて	グループワーク（グループディスカッション）を知る	
6	面接練習	グループワーク時間管理、面接練習、プレゼン	
7	面接練習	個人面接	
8	内定後について	内定から入社までの流れ お礼状の書き方 内定後の過ごし方	
成績評価の目安と方法			
各回で実施する課題、授業態度などで総合的に成績評価を行う。			
評価	成績評価別の到達度		
A	自分の考え、作品内容などをまとめ十分に伝えることができる。		
B	自分の考え、作品内容などをまとめ良く伝えることができる。		
C	自分の考え、作品内容などをまとめ伝えることができる。		
D	単位認定不可。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ファッションマーケティング		松山 由未	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	フリーデザイナーとして自身のブランド経営ノウハウをマーケティングの角度から広く指導する。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択必修	講義・演習	ファッションスタイリング科2年	2
授業概要			
現在のファッション業界やアパレル産業の仕組み、消費者ニーズに基づく製品企画、価格やマーチャンダイジング構築、小売店の運営や販売等の流通戦略、販売促進計画などについて学ぶ。また衣料品領域以外にも拡大していくファッションマーケティングの現況についても、身近な事例や自らの業務経験を交えて概説します。			
学習到達目標			
実務上で応用が利くマーケティングの基礎知識を幅広く習得することが目標です。			
教科書及び教材			
テキストは使用しない。必要に応じてプリントを配布します。また適宜参考文献等を紹介しします			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	オリエンテーション	授業の概要を理解する	
2	マーケティング概要	マーケティングとは、マーケティングの必要性とは	
3	マーケティング用語について	4P、ベネフィット、差別化、セグメンテーション	
4	生活者について	買い物行動について	
5	企業比較	身近で同じカテゴリーの企業を比較する	
6	商品比較	身近で同じカテゴリーの商品を比較する	
7	SWOT分析	マーケティング課題を発見する	
8	SWOT分析	マーケティング課題を発見する	
9	ブランドについて	「ブランド」はなぜ必要か	
10	マーケティングリサーチ	フィールドワークの方法	
11	企画書	企画書の作成、企画内容発表	
12	企画書に関わるデザインとアプローチ	各自企画書に基づいて消費者へのアプローチ方法をまとめる	
13	プレゼンテーション方法	プレゼンテーションの組み立て方、テクニック	
14	プレゼンテーション	各自プレゼンテーション、評価を行う	
15	まとめ	全体のまとめ 最終課題提出	
成績評価の目安と方法			
各回での課題、授業態度、最終プレゼンで総合的に評価を行います。			
評価	成績評価別の到達度		
A	ファッションマーケティングの基礎知識を十分に理解した。		
B	ファッションマーケティングの基礎知識を良く理解した。		
C	ファッションマーケティングの基礎知識を理解した。		
D	単位認定不可		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
スタイリングマップ2		岩崎 清美	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	現役のスタイリストがトータルコーディネートの手法を生かし、客観的で明確なスタイリング提案を指導していく。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	講義・演習	ファッションスタイリング科2年	2
授業概要			
ファッションとヘアメイクを総合的に考え、全体のコーディネート进行分析し、考え、生み出す。ファッションとヘアメイクつながりの重要性を理解する。			
学習到達目標			
人のタイプを瞬時に分析し、いろいろな人に合った客観的で明確なスタイリング提案ができる。			
教科書及び教材			
F.S.A Styling Map ファッションスタイリスト プレイヤー検定テキスト、雑誌、ハミ、のり、色鉛筆			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	Styling Mapとは	S-Mapのプレイヤー概要、検定目的・目標	
2	色の基礎知識	パーソナルカラーの概要	
3	カラー分析・分類の基礎	パーソナルカラーの分析・分類	
4	人の色の分析	S-Mapの人の色分析	
5	形の分析	アイテム、物の形の分析	
6	素材（質感）分析・分類	アイテム、物の素材（質感）の分析	
7	人の形の分析	S-Mapの人の形の分析	
8	人の質感の分析	S-Mapの人の質感の分析	
9	トータル分析	S-Mapの物のトータル分析	
10	トータル分析①	S-Mapの人・物のトータル分析	
11	トータル分析②	S-Mapの人・物のトータル分析	
12	トータル分析③	S-Mapの人のトータル分析	
13	復習テスト	検定対策復習テスト	
14	復習テスト	検定対策復習テスト	
15	復習テスト	検定対策復習テスト	
成績評価の目安と方法			
授業態度、提出物、出席率、テスト結果			
評価	成績評価別の到達度		
A	80%以上出席、課題の仕上がり状態が優良、Styling Mapの提案を習得できた。		
B	60%以上出席、課題の仕上がり状態が良、Styling Mapの提案を習得できた。		
C	60%以上出席、課題の仕上がり状態が可、Styling Mapの提案を習得できた。		
D	60%以上出席、課題の仕上がり状態が可又は未提出、Styling Mapの提案の不習得。		



2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ヘアメイク2		酒井 勝利	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	現役のメイクアップアーティストが担当し、スキンケアから服に合わせたヘアメイクの手法を指導していく。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択必修	実習	ファッションスタイリング科2年	1
授業概要			
イメージに合うヘアメイク、現場ごとのヘアメイクの違いを修得する。			
学習到達目標			
基礎のヘアメイクを活かしその現場の要求に合わせたヘアメイクができるようになる			
教科書及び教材			
【KP】メイク用テキスト、メイク用品一式【学内物品】ブラシ類、ピン類、ダッカール、シングルピン、ストレートアイロン、カールアイロン（19ミリ、25ミリ、32ミリ）、ホットカーラー、ドライヤー			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ヘアメイク道具説明/基本メイク	ヘアメイク道具の説明、マッサージ、スキンケア、ベース、ハイライト、ローライト	
2	基本メイク	アイメイク、アイブロウ、チーク、リップ	
3	基本メイクチェック/ヘア	基本メイクのチェック、ヘアカールの種類（縦巻き、平巻き、ウェーブ）	
4	スチールヘアメイク	スチール撮影のヘアメイクの仕方	
5	ショーヘアメイク	ファッションショーのヘアメイクの仕方	
6	ムービーヘアメイク	ムービー撮影のヘアメイクの仕方	
7	韓国アイドルヘアメイク	韓国アイドルヘアメイクの仕方	
8	ヘアメイクチェック	イメージを出し、それに沿ったヘアメイク、モデルにあったヘアメイクができているか	
成績評価の目安と方法			
受講姿勢やヘアメイク技術、コミュニケーション能力を総合的に評価します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	要求したヘアメイクを期待以上にできた。		
B	要求したヘアメイクを期待通りできた。		
C	要求したヘアメイクを部分的にできた。		
D	要求したヘアメイクを期待通りできなかった。		

## 2024 年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
スタジオワーク		岸本 咲子	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	現役のカメラマンが授業を担当し、機材の使い方から撮影まで指導する。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択必修	実習	ファッションスタイリング科2年	1
授業概要			
一眼レフカメラを用い、自然光の撮影とスタジオ撮影を行います。基本的な撮影技術や写真知識を修得し、自身のスタイリングを作品撮りしていきます。			
学習到達目標			
カメラや撮影機材の操作方法と基本的な撮影技術を習得し、自身のスタイリングを適切な写真表現で撮影できることを目標とする。			
教科書及び教材			
作品制作にあたって、自分が好きなイメージ、撮ってみたいと思う雰囲気の写真(広告・雑誌・ウェブ等)をストックしておきましょう。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	撮影技術	基本的な一眼レフでの撮影方法を学びます。	
2	撮影技術2	自然光でライティングの基本を学びます。 またスタジオでの撮影方法を学びます。	
3	スタジオ撮影1	基本のスタジオライティングを学びます。	
4	スタジオ撮影2	様々なライティングを実践的に組み合わせて理解を深めます。	
5	作品制作1	撮影プランのプレゼンテーション、撮影日の計画等を行います。	
6	作品制作2	チームに分かれて、スタジオとロケで作品を撮影します。	
7	作品制作3	チームに分かれて、スタジオとロケで作品を撮影します。	
8	出力・講評	作品をセレクトし、出力します。	
成績評価の目安と方法			
技術・知識の修得度と、それらが作品へ適切に反映されているかを総合的に評価します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	意欲的に技術を修得し、意図に適した写真表現がなされ、完成度の高い作品が制作できた。		
B	技術を修得し、意図に適した写真表現がなされ、良い作品を制作できた。		
C	チームの助けを得て、良い作品を制作できた。		
D	十分な技術修得ができなかった、作品を提出できなかった、など。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ファッションビジネス3		奈良 将之・田中 日菜子	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	アパレルブランドを起業させた経験を踏まえ、ファッション業界のビジネス手法や用語を熟知しておりその経験を生かし、知識の習得を指導する。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択必修	講義・演習	ファッションスタイリング科1年	2
授業概要			
ファッションビジネス検定2級合格を目指します。また、進歩・変革し続け、絶えざる創造を必要とするファッションビジネスの世界で活躍する際に必要となる専門的な知識を身につけ、将来活躍するアパレル企業・業界にて活躍出来るように備えます。			
学習到達目標			
ファッション業界に必要な基礎用語や知識の習得、FB検定2級取得			
教科書及び教材			
ファッションビジネス能力検定試験2級準拠 ファッション辞典 服地がわかる事典			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	ファッション文化・デザイン文化	ファッション文化とデザイン文化 ファッション・コーディネーション	
2	ファッション商品知識	アパレル商品部門・服種・アイテム シルエット、ディテール	
3	ファッション商品知識	服種雑貨の商品知識 素材の専門知識 副資材の知識	
4	ファッション商品知識	シルエット・ディテール 服飾雑貨の商品知識	
5	パターンメイキング	ファッション・エンジニアリング	
6	アパレル生産と物流	アパレル生産管理、品質管理 アパレル物流 QRの基礎知識	
7	ファッション流通1	アパレル流通戦略 アパレル、小売、SCの取引特性	
8	ファッション流通2	アパレル営業とチャネル管理 模擬問題 解答解説	
9	販売管理とプロモーション1	アパレル流通戦略 アパレル、小売、SCの取引特性	
10	販売管理とプロモーション2	アパレル営業とチャネル管理 模擬問題 解答解説	
11	キャリアプラン	職種別業務内容 自己啓発と自己管理	
12	ビジネス基礎知識1	マネジメント基礎知識 計数管理 1	
13	ビジネス基礎知識2	計数管理 2 模擬問題 解答解説	
14	模擬試験	ファッション・ビジネスの特性~ビジネス基礎知識までの模擬試験	
15	模擬試験 解答・解説	解答と解説	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢、ファッションビジネス能力検定2級試験結果を総合的に評価			
評価	成績評価別の到達度		
A	ファッションビジネス、造形とも2級の知識を十分に身につけている。		
B	ファッションビジネス、造形とも2級の知識をおおまかに身につけている。		
C	ファッションビジネス、造形とも2級の知識を最低限身につけている。		
D	特定の知識習得が出来ていない		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
VMD		深海 美香	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	ショーウィンドウや売り場を飾るデコレーター業を行なっている講師であり、 経験を生かした講義と実習を行う。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択必修	実習	ファッションスタイリング科 2年	3
授業概要			
ファッションビジネスで重要視されているビジュアルマーチャンダイジングを講義と実習で 学びます。			
学習到達目標			
専門用語理解、売り場の構成と機能の理解、演出方法の習得。			
教科書及び教材			
教科書、配布テキスト			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	オリエンテーション	授業進行と内容、評価基準、提出物について 座学/VMDとは	
2	MD	座学/MDとは 実習/ハンギング	
3	SD	座学/SDとは 実習/ウェアリング	
4	MP / 用語テスト	座学/MPとは 用語テスト/実施・回答・解説	
5	色・照明	座学/色・照明 実習/構成の演習	
6	VMDリサーチ	実習/VMDリサーチの作成	
7	VPプラン 1	実習/VPプランの作成	
8	VPプラン 2	実習/VPプランの発表	
9	ショップ視察	期間限定ショップ視察	
10	ラッピング	実習/ラッピングの演習	
11	VMDプランニング1	実習/プランニング	
12	VMDプランニング2	実習/制作	
13	VMDプランニング3/総合テスト	実習/発表 総合テスト/実施・解説	
14			
15			
成績評価の目安と方法			
課題(提出状況・仕上がり)、授業内容の理解力(テスト結果)、授業態度			
評価	成績評価別の到達度		
A	課題、テスト、授業態度の合計 80点以上		
B	課題、テスト、授業態度の合計 70点以上		
C	課題、テスト、授業態度の合計 60点以上		
D	課題、テスト、授業態度の合計 59点以下		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
スタイリストトレーニング2		田中 日菜子	
実務経験	科目に関する実務内容		
—	—		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択必修	実習	ファッションスタイリング科2年	2
授業概要			
スタイリストのインターンシップです。スタイリストトレーニング1で学んだことを生かして現場経験を積みます。また、この機会を通して卒業後に師事していくスタイリストの選択に役立てます。			
学習到達目標			
アシスタントレベルで必要とされる仕事内容の習得を目指します。			
教科書及び教材			
実習報告書			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	事前指導	参加する上での注意事項、情報の取り扱いについて、必要書類の記入方法。	
2	インターンシップ実施 開始	派遣先スタイリストの元でインターンシップを実施。	
3		メイクチェック・カメラチェック	
4			
5		【主な作業内容】	
6		撮影の同行、スタイリング、アイロンがけ、裾まつり、タグの管理、	
7		ピックアップ及び返却業務等	
8			
9			
10			
11			
12			
13	インターンシップ実施 終了		
14	実習報告書記入	実習報告書を記入し、学内担当者へ提出。	
15	まとめ	インターンシップ終了報告会	
成績評価の目安と方法			
指導担当スタイリストによる 総合評価			
【評価項目 勤務態度 積極性 探究心 対人関係 理解力 行動力 責任感 所見】			
評価	成績評価別の到達度		
A	指導担当スタイリストによる総合評価がA取得であり、評価項目も全てAである		
B	指導担当スタイリストによる総合評価がA取得であるが、評価項目にB評価を含んでいる。		
C	指導担当スタイリストによる総合評価がB取得である。		
D	指導担当スタイリストによる総合評価がC取得である。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
アパレルインターンシップ		田中 日菜子	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	営業職、販売職等の多岐にわたる業界経験を生かした店舗のマネジメントを実習を通して指導していく。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択必修	実習	ファッションスタイリング科2年	2
授業概要			
ファッションアドバイザーのインターンシップです。販売実務と店舗での付帯業務等の現場経験を積みます。学校での学びの成果と不足部分の確認をし、今後の学習に役立てます。			
学習到達目標			
新入社員レベルで必要とされる社会人基礎力やスキルの習得を目指します。			
教科書及び教材			
実習報告書			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	事前指導	参加する上での注意事項、必要書類の記入方法。	
2	事前指導	受け入れ先企業の情報を収集し、基礎知識を蓄える。	
3	インターンシップ実施 開始	派遣企業でインターンシップを実施	
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13	インターンシップ実施 終了	派遣企業でインターンシップ終了	
14	実習報告書記入	実習報告書を記入し、学内担当者へ提出。	
15	まとめ	インターンシップ終了報告会	
成績評価の目安と方法			
指導担当スタイリストによる 総合評価			
【評価項目 勤務態度 積極性 探究心 対人関係 理解力 行動力 責任感 所見】			
評価	成績評価別の到達度		
A	企業担当者による総合評価がA取得であり、評価項目も全てAである。		
B	企業担当者による総合評価がA取得であるが、評価項目にB評価を含んでいる。		
C	企業担当者による総合評価がB取得である。		
D	企業担当者による総合評価がC取得である。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
帽子製作		日田 泰造	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	担当講師は帽子デザイナーとしての業務経験を生かし、様々なデザインの帽子製作の指導を行う。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	アパレルプロフェッショナル科2年 ファッションスタイリング科2年	1
授業概要			
自分でデザインした帽子の製作。専門的な知識と技術の学習。ショーでのトータルコーディネート。			
学習到達目標			
自分のイメージしたデザインを厳密により正確に早く美しく仕上げる。授業時間内、二個の作品の完成。			
教科書及び教材			
スケッチブック、着色材一式、メジャー。各自製作用素材。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	説明~実習	サンプルの解説、素材の解説、道具の解説、作業工程解説、デザイン	
2	製作作業	型入れ、および製図、型紙作成。	
3	製作作業	製作作業	
4	製作作業	製作作業	
5	製作作業	製作作業	
6	製作作業	製作作業	
7	製作作業	製作作業	
8	製作作業	製作作業~完成。	
成績評価の目安と方法			
技術力、理解力、課題提出を総合的に評価。			
評価	成績評価別の到達度		
A	道具の使用法を理解しデザインに適合した素材を選び正確に美しく期日までに仕上げた。		
B	道具の使用法を理解し作品を期日までに仕上げた。		
C	作品を期日までに仕上げた。		
D	道具、作業工程や素材選び、及び取り扱いなど未熟であるが、作品を期日までに仕上げた。		

### 【共通開講科目】

プレゼンテーション1	-----	136
プレゼンテーション2		
コレクションセミナー1	-----	138
コレクションセミナー2		
マーケットリサーチ1	-----	140
マーケットリサーチ2		
イベントプロデュース1	-----	142
イベントプロデュース2		
incubate collection	-----	144
キャンパスサポート1	-----	145
キャンパスサポート2		
コンテストコーチング	-----	147

### 【ディプロマポリシー・カリキュラムポリシーの紹介】



2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
プレゼンテーション1		齋藤 誠志	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	アパレル企業のデザイナー経験を活かし、企画書のレイアウトデザインやプレゼンテーション指導を行う。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年 ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
ビジネスの場ではプレゼンテーション力の重要性が指摘されています。この授業はプレゼンテーション能力向上をはかります。自分の考えをまとめ、発表内容に説得力を持たせることを実習を通して身につけます。			
学習到達目標			
目的に沿った魅力的な資料づくりをベースにより自分らしさの伝わるプレゼンテーションを行う。			
教科書及び教材			
担当教員よりその都度指示が出ます。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	プレゼン用の資料作りの基本	プレゼン用の資料制作を通じ平面上のレイアウトを学びます。	
2	〃	〃	
3	プレゼン練習1	制作した資料を使用したプレゼンテーションを行います。	
4	プレゼン準備（資料）	プレゼンに使用する資料制作を行います。	
5	〃	〃	
6	プレゼン準備（原稿）	プレゼンに使用する原稿制作、話し方、態度などを理解し組み立てを行います。	
7	プレゼン準備	資料原稿のチェックと修正を行います。	
8	プレゼン	授業の成果物を使用したプレゼンテーションを行います。	
成績評価の目安と方法			
資料の完成度、発表の完成度が評価基準になります。			
評価	成績評価別の到達度		
A	プレゼンテーションはすべての面において好印象を与え聞く側の共感を得て模範的である。		
B	プレゼンテーションは聴きやすく好印象を与えている。		
C	プレゼンテーションは出来ているが、好印象を与えるまでにはいかない。		
D	プレゼンテーションは出来ているが、改善面が多くある。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
プレゼンテーション2		齋藤 誠志	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	アパレル企業のデザイナー経験を活かし、企画書のレイアウトデザインやプレゼンテーション指導を行う。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年 ファッションスタイリング科2年	1
授業概要			
期間限定ショップ商品、incubate collection作品、卒業記念コレクション作品のプレゼンを行います。			
学習到達目標			
説明する内容のスムーズな組み立て、声の大きさ、自分自身の立ち振る舞い、全てに神経を使いベストな状態で伝える意識と行動を身につけて下さい。			
教科書及び教材			
担当教員よりその都度指示が出ます。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	プレゼン見学	同学年の他学科のプレゼンを見学します。	
2	プレゼンテーション準備	説明内容の組み立てやツールの使い方の準備	
3	プレゼンテーション準備	クラス内でのプレゼンテーション練習	
4	プレゼンテーション1	期間限定ショップ 企画プレゼン 実施~評価	
5	プレゼンテーション2	期間限定ショップ 商品プレゼン 実施~評価	
6	プレゼンテーション3	incubatecollection デザインプレゼン 実施~評価	
7	プレゼンテーション5	incubatecollection 作品プレゼン 実施~評価	
8	プレゼンテーション6	卒業製作企画プレゼン 実施~評価	
成績評価の目安と方法			
プレゼンテーション実施前に提示する評価基準にそって教員が評価します。望む姿勢、声の大きさ、ツールの使い方、聞きやすさ、等が評価基準になります。			
評価	成績評価別の到達度		
A	プレゼンテーションはすべての面において好印象を与え聞く側の共感を得て模範的である。		
B	プレゼンテーションは聴きやすく好印象を与えている。		
C	プレゼンテーションは出来ているが、好印象を与えるまでにはいかない。		
D	プレゼンテーションは出来ているが、改善面が多くある。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
コレクションセミナー1		クラス担任	
実務経験	科目に関する実務内容		
—	—		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	講義・演習	アパレルプロフェッショナル科1年 ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
市場動向やファッショントレンドについての最新情報を得る授業です。また、特別講義として業界で活躍中の方や卒業生の講演もあります。			
学習到達目標			
ファッションデザインをする際、トレンド(ファッションの傾向)はいつも意識しなくてはいけないものです。この時間はそのトレンドをつかむことを目的に実施する授業です。また、業界の著名人等の講演もあり、ファッションについてどのような考えを持っているか参考にして下さい。			
教科書及び教材			
A4レポート用紙、筆記用具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	トレンドセミナー	パリ・ミラノコレクションレポート	
2	トレンドセミナー	パリ・ミラノ市場動向	
3	芸術鑑賞会	芸術鑑賞会 事前指導	
4	芸術鑑賞会	芸術鑑賞会 見学	
5	特別講義	特別講義 卒業生による講演	
6	特別講義	特別講義 卒業生による講演	
7	特別講義	特別講義 卒業生による講演	
8	特別講義	業界著名人により講演	
成績評価の目安と方法			
レポート提出が毎回の課題です。期限厳守し、適切な内容をまとめて下さい。評価は提出状況とレポート内容を総合的に判断します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	レポートは適切な内容にまとめられ、期限内に提出し、知識の蓄積ができている。		
B	レポートは適切な内容にまとめられ、期限内に提出できている。		
C	レポートにまとめ、期限に遅れても提出する。		
D	特定の技術習得ができていない		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
コレクションセミナー2		クラス担任	
実務経験	科目に関する実務内容		
—	—		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	講義・演習	アパレルプロフェッショナル科2年 ファッションスタイリング科2年	1
授業概要			
市場動向やファッショントレンドについての最新情報を得る授業です。また、特別講義として業界で活躍中の方や卒業生の講演もあります。			
学習到達目標			
ファッションデザインをする際、トレンド(ファッションの傾向)はいつも意識しなくてはならないものです。この時間はそのトレンドをつかむことを目的に実施する授業です。また、業界の著名人等の講演もあり、ファッションについてどのような考えを持っているか参考にして下さい。			
教科書及び教材			
A4レポート用紙、筆記用具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	トレンドセミナー	パリ・ミラノコレクションレポート	
2	トレンドセミナー	パリ・ミラノ市場動向	
3	芸術鑑賞会	芸術鑑賞会 事前指導	
4	芸術鑑賞会	芸術鑑賞会 見学	
5	副資材について	YKKファスナー講習 副資材の理解を深める	
6	特別講義	特別講義 卒業生による講演	
7	特別講義	特別講義 卒業生による講演	
8	特別講義	業界著名人により講演	
成績評価の目安と方法			
レポート提出が毎回の課題です。期限厳守し、適切な内容をまとめて下さい。評価は提出状況とレポート内容を総合的に判断します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	レポートは適切な内容にまとめられ、期限内に提出し、知識の蓄積ができている。		
B	レポートは適切な内容にまとめられ、期限内に提出できている。		
C	レポートにまとめ、期限に遅れても提出する。		
D	特定の技術習得ができていない		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
マーケットリサーチ1		クラス担任	
実務経験	科目に関する実務内容		
—	—		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年 ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
店舗リサーチから美術館見学まで幅広く行う校外見学の授業です。見学前には必ず事前情報を与えますので、目的や疑問を持ち、それを生かした見学の仕方をして下さい。			
学習到達目標			
「集めた情報を文章にまとめる。感じたことを文章表現する。」学内では得られないファッション情報や美的センスを磨くためアート作品の見学等を行います。必ずレポートを製作し知識や情報を蓄積させて下さい。			
教科書及び教材			
A4レポート用紙、筆記用具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	アート鑑賞1	美意識を磨くための絵画やデザイン作品の鑑賞。	
2	アート鑑賞2	美意識を磨くための絵画やデザイン作品の鑑賞。	
3	アート鑑賞3	美意識を磨くための絵画やデザイン作品の鑑賞。	
4	アート鑑賞4	美意識を磨くための絵画やデザイン作品の鑑賞。	
5	店舗リサーチ1	新規店舗やトレンドとなっているブランドや地域をリサーチします。	
6	店舗リサーチ2	新規店舗やトレンドとなっているブランドや地域をリサーチします。	
7	材料リサーチ	服作りのための素材を見つけます。	
8	材料リサーチ	服作りのための素材を見つけます。	
成績評価の目安と方法			
レポート提出が必須です。期限厳守と適切な内容であることを評価します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	リサーチしたことを適切にレポートにまとめ、期限内に提出し、知識の蓄積ができています。		
B	リサーチしたことを適切にレポートにまとめ、期限内に提出できています。		
C	リサーチしたことをレポートにまとめ、期限に遅れても提出する。		
D	授業には参加したが、レポートは未提出である。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
マーケットリサーチ2		クラス担任	
実務経験	科目に関する実務内容		
—	—		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年 ファッションスタイリング科2年	1
授業概要			
店舗リサーチから美術館見学まで幅広く行う校外見学の授業です。見学前には必ず事前情報を与えますので、目的や疑問を持ち、それを生かした見学の仕方をして下さい。			
学習到達目標			
「集めた情報を文章にまとめる。感じたことを文章表現する。」学内では得られないファッション情報や美的センスを磨くためアート作品の見学等を行います。必ずレポートを製作し知識や情報を蓄積させて下さい。			
教科書及び教材			
A4レポート用紙、筆記用具			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	アート鑑賞1	美意識を磨くための絵画やデザイン作品の鑑賞。	
2	アート鑑賞2	美意識を磨くための絵画やデザイン作品の鑑賞。	
3	アート鑑賞3	美意識を磨くための絵画やデザイン作品の鑑賞。	
4	アート鑑賞4	美意識を磨くための絵画やデザイン作品の鑑賞。	
5	店舗リサーチ1	新規店舗やトレンドとなっているブランドや地域をリサーチします。	
6	店舗リサーチ2	新規店舗やトレンドとなっているブランドや地域をリサーチします。	
7	材料リサーチ	服作りのための素材を見つけます。	
8	材料リサーチ	服作りのための素材を見つけます。	
成績評価の目安と方法			
レポート提出が必須です。期限厳守と適切な内容であるかを評価します。			
評価	成績評価別の到達度		
A	リサーチしたことを適切にレポートにまとめ、期限内に提出し、知識の蓄積ができている。		
B	リサーチしたことを適切にレポートにまとめ、期限内に提出できている。		
C	リサーチしたことをレポートにまとめ、期限に遅れても提出する。		
D	授業には参加したが、レポートは未提出である。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
イベントプロデュース1		クラス担任	
実務経験	科目に関する実務内容		
—	—		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科1年 ファッションスタイリング科1年	2
授業概要			
学園祭など準備から実施まで行います。学生間で協議し行事を運営していきます。			
学習到達目標			
社会人基礎力を養う授業です。履修目的を理解して受講してください。			
教科書及び教材			
その都度、必要なものは指示します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	【新入生歓迎会】	学生間の親睦をはかるイベントです。先輩達やクラス内で交流をはかってください。	
2			
3	【体育祭】		
4			
5	【学園祭】		
6			
7			
8			
併設校と合同で行う体育祭です。楽しみながら規律ある行動が必要です。			
1年間の集大成となる学科の展示を行います。全員で協力し、成功させてください。			
成績評価の目安と方法			
社会人基礎力を基にした評価を行います。			
評価	成績評価別の到達度		
A	社会人基礎力は十分身につく模範的行動ができるレベルである。		
B	社会人基礎力は意識して行動できるレベルである。		
C	社会人基礎力は身につくつつあるがまだ不十分な面がある。		
D	授業への参加状況が悪く社会人基礎力が未熟である。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
イベントプロデュース2		クラス担任	
実務経験	科目に関する実務内容		
—	—		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	アパレルプロフェッショナル科2年 ファッションスタイリング科2年	2
授業概要			
学園祭などの準備から実施まで行います。学生間で協議し行事を運営していきます。2年生では下級生を指導する機会もあります。			
学習到達目標			
社会人基礎力を養う授業です。履修目的を理解して受講してください。			
教科書及び教材			
その都度、必要なものは指示します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	【新入生歓迎会】	学生間の親睦をはかるイベントです。学校として交流会を行います。	
2			
3	【体育祭】		
4			
5	【学園祭】		
6			
7			
8			
1年間の集大成となる学科の展示を行います。全員で協力し、成功させてください。			
成績評価の目安と方法			
社会人基礎力を基にした評価を行います。			
評価	成績評価別の到達度		
A	社会人基礎力は十分身につき模範的行動ができるレベルである。		
B	社会人基礎力はを意識して行動できるレベルである。		
C	社会人基礎力は身につつつあるがまだ不十分な面がある。		
D	授業への参加状況が悪く社会人基礎力が未熟である。		



2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
incubate collection		教務部	
実務経験	科目に関する実務内容		
—	—		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	全学科・全クラス	1
授業概要			
ファッションショー『incubate collection』を準備から実施まで行います。各ポジションに分かれそれぞれの担当教員から指導されます。2年生は上級生として責任あるポジションに配置されます。			
学習到達目標			
社会人基礎力の向上 新入社員レベルを目指す。			
教科書及び教材			
担当教員よりその都度指示します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	事前指導	ポジションごとに業務内容説明、取り組み姿勢の指導説明	
2	準備期間	ポジションごとに本番に向けた練習・準備	
3	本番前チェック	各ポジションの業務内容の内容とレベルチェック	
4	修正作業	チェックを受けて見つかった不足箇所の修正	
5	本番前準備	修正箇所の確認と本番に向けた準備	
6	本番	各ポジションの業務を行う	
7	撤収作業	本番終了後撤収作業	
8	検証	全ての工程を振り返り自身の業務を評価します。	
成績評価の目安と方法			
社会人基礎力を基にした評価をしますが、業務内容だけではなく行動姿勢、意欲まで評価基準となります。			
評価	成績評価別の到達度		
A	社会人基礎力が発揮され、模範的行動レベルであった。		
B	社会人基礎力が発揮され、自身の担当業務を全うした。		
C	社会人基礎力に不十分な面はあるが、自身の担当業務を全うした。		
D	社会人基礎力に未熟な面が多い。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
キャンパスサポート1		田中 日菜子・折笠 仁美	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	営業職、販売職等の多岐にわたる業界経験を生かした店舗のマナーやマネジメントを実習を通して指導していく。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
特別実習	実習	アパレルプロフェッショナル科1年 ファッションスタイリング科1年	1
授業概要			
本校の体験入学において接遇を学ぶ機会であり、人格教育としての面もあります。初対面の相手と和やかな会話を交わし、相手への気遣いを身につけていきます。			
学習到達目標			
初対面の相手と和やかな会話を交わし、相手へ遣いが出来るレベルを身につけてください。			
教科書及び教材			
必要に応じて担当教員から指示をします。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	事前指導	参加する上での注意事項の説明 評価項目についての説明	
2	マナー講座1	体験入学における接遇の理解	
3	体験入学当日	朝礼9:00 実習のサポート、昼食、誘導、お見送り等	
4	マナー講座2	再確認	
5	マナー講座3	スキルアップ	
6	体験入学当日	朝礼9:00 実習のサポート、昼食、誘導、お見送り等	
7	レポート作成	反省会	
8	評価	各自へ評価結果を口頭で伝えます。	
成績評価の目安と方法			
評価項目 積極性 理解力 行動力 責任感 気遣い 礼儀 6項目を総合的に評価 【総合評価はA B Cの3ランクで評価】			
評価	成績評価別の到達度		
A	総合評価はA取得であり評価項目は全てAである。		
B	総合評価はA取得であるが、評価項目にB評価を含んでいる。		
C	総合評価 B取得		
D	総合評価 C取得		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
キャンパスサポート2		田中 日菜子・折笠 仁美	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	営業職、販売職等の多岐にわたる業界経験を生かした店舗のマナーやマネジメントを実習を通して指導していく。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
特別実習	実習	アパレルプロフェッショナル科2年 ファッションスタイリング科2年	1
授業概要			
本校の体験入学において接遇を学ぶ機会であり、人格教育としての面もあります。初対面の相手と和やかな会話を交わし、相手への気遣いを身につけていきます。			
学習到達目標			
初対面の相手と和やかな会話を交わし、相手へ遣いが出来るレベルを身につけてください。			
教科書及び教材			
必要に応じて担当教員から指示をします。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	事前指導	参加する上での注意事項の説明 評価項目についての説明	
2	マナー講座1	体験入学における接遇の理解	
3	体験入学当日	朝礼9:00 実習のサポート、昼食、誘導、お見送り等	
4	マナー講座2	再確認	
5	マナー講座3	スキルアップ	
6	体験入学当日	朝礼9:00 実習のサポート、昼食、誘導、お見送り等	
7	レポート作成	反省会	
8	評価	各自へ評価結果を口頭で伝えます。	
成績評価の目安と方法			
評価項目 積極性 理解力 行動力 責任感 気遣い 礼儀 6項目を総合的に評価 【総合評価はA B Cの3ランクで評価】			
評価	成績評価別の到達度		
A	総合評価はA取得であり評価項目は全てAである。		
B	総合評価はA取得であるが、評価項目にB評価を含んでいる。		
C	総合評価 B取得		
D	総合評価 C取得		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
コンテストコーチング		折笠 仁美	
実務経験	科目に関する実務内容		
—	—		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
特別実習	実習	アパレルプロフェッショナル科2年 ファッションスタイリング科2年	1
授業概要			
アパレルデザインの考え方、ディティールの細かな各種デザインコンテストに挑戦する為のノウハウも身に着けます。			
学習到達目標			
デザインコンテストへの挑戦			
教科書及び教材			
各種コンテスト受賞作品(実物、写真データ)			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	概要説明	授業内容・スケジュール・評価について	
2	アパレルデザイン①	コラージュからのコーディネート提案	
3	アパレルデザイン②	〃	
4	デザイン画テクニック①	デザイン画を描くための様々なテクニック	
5	デザイン画テクニック②	〃	
6	デザイン実習①	コンテストに向けたデザイン (アート・建築物・自然界にあるものをテーマに描く)	
7	デザイン実習②	〃	
8	デザイン実習③	コンテストに挑戦 (実際のデザイン画コンテストに応募する絵を描く)	
成績評価の目安と方法			
知識・技術の習得、授業姿勢を総合的に評価する。			
評価	成績評価別の到達度		
A	コンテストデザインの考え方を十分に理解している。		
B	コンテストデザインの考え方をおおまかに理解している。		
C	コンテストデザインの考え方を最低限理解している。		
D	特定の技術習得ができていない。		

2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
ファッションリサーチ1		齋藤 誠志	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	アパレル企業のデザイナー経験を活かし、商品の構成や指導を行う。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	ファッションマスター科	4
授業概要			
期間限定ショップに向けた商品製作課題です。デザインから縫製まで自ら行います。前半の8回は企画デザイン、その後の22回はパターン、縫製等の製作の時間として使います。			
学習到達目標			
販売時期やファッショントレンドを考慮した商品を製作し、出来上がった商品の価値を明確に説明でき			
教科書及び教材			
担当教員より、進行に伴い必要に応じて指示します。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	企画デザイン1	期間限定ショップの目的説明~何をやるべきかの理解を促す	
2	企画デザイン2	各自のデザイン製作~個別指導、技術相談	
3	企画デザイン3	クラス内での企画内容プレゼンテーション	
4	製作相談	使用素材や製作方法についての個別相談	
5	裁断 縫製	各自作業	
6	途中段階でのチェック	進行状況の確認	
7	完成チェック	企画・製作意図及び完成度をチェックする。	
8	終了レポート提出	次回の課題に生かす為、行ってきた事と反省をレポートにまとめる	
成績評価の目安と方法			
企画段階50点・製作段階50点の合計点で評価(評価ポイント知識・技術の習得、授業姿勢、作品のクオリティ)			
評価	成績評価別の到達度		
A	時代感を感じさせ、且つ個性的なファッション商品を生み出し、その内容をプレゼンテーションで説明できた。		
B	個性的なファッション商品を生み出し、その内容をプレゼンテーションで説明できた。		
C	授業に参加し、個性的なファッション商品を生み出すことができた。		
D	授業に参加し、ファッション商品を生み出すことができた。		

## 2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
プレゼンテーション実習		齋藤 誠志	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	アパレル企業のデザイナー経験を活かし、企画書のレイアウトデザインやプレゼンテーション指導を行う。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
必修	実習	ファッションマスター科	2
授業概要			
ビジネスの場ではプレゼンテーション力の重要性が指摘されています。この授業はプレゼンテーション能力向上をはかります。自分の考えをまとめ、発表内容に説得力を持たせることを実習を通して身につけます。			
学習到達目標			
説明する内容のスムーズな組み立て、声の大きさ、自分自身の立ち振る舞い、全てに神経を使いベストな状態で伝える意識と行動を身につけて下さい。			
教科書及び教材			
担当教員よりその都度指示が出ます。			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	プレゼンテーションに関する講義	プレゼンテーションに求められる要素や自分らしさを引き出すための講義。	
2	プレゼンテーション準備	説明内容の組み立てやツールの使い方の準備	
3	プレゼンテーション準備	クラス内でのプレゼンテーション練習	
4	プレゼンテーション1	期間限定ショップ 企画プレゼン 実施~評価	
5	プレゼンテーション2	期間限定ショップ 商品プレゼン 実施~評価	
6	プレゼンテーション3	incubatecollection デザインプレゼン 実施~評価	
7	プレゼンテーション5	incubatecollection 作品プレゼン 実施~評価	
8	プレゼンテーション6	卒業製作企画プレゼン 実施~評価	
成績評価の目安と方法			
プレゼンテーション実施前に提示する評価基準にそって教員が評価します。望む姿勢、声の大きさ、ツールの使い方、聞きやすさ、等が評価基準になります。			
評価	成績評価別の到達度		
A	プレゼンテーションはすべての面において好印象を与え聞く側の共感を得て模範的である。		
B	プレゼンテーションは聴きやすく好印象を与えている。		
C	プレゼンテーションは出来ているが、好印象を与えるまでにはいかない。		
D	プレゼンテーションは出来ているが、改善面が多くある。		

## 2024年度 学習支援計画書

科目名		担当講師	
自己研究課題2		三枝 壘	
実務経験	科目に関する実務内容		
○	テーラー職人としての技術を生かし、テーラー仕立ての技術を指導する。		
授業科目区分	授業形態	受講学生	単位
選択	実習	ファッションマスター科	1
授業概要			
テーラーの洋服を理解し、一年間かけて自分の体に合うスーツを制作する			
学習到達目標			
ミシンと手縫いの両方を使い工場生産では出来ない手間をかけた縫い方を取得する			
教科書及び教材			
パターン用具一式、縫製用具一式、各種素材			
授業内容			
回	テーマ	内容	
1	オリエンテーション	紳士服縫製の説明、デザインの決定	
2	パターン制作	型紙を解説しながら制作	
3	仮縫制作、仮縫い	シーチングを使い仮縫い制作し、本人が着用し仮縫いを行う	
4	型紙補正	体型補正、デザインを確認し型紙の補正を行う	
5	本布裁断、仮縫い制作	本布を裁断し仮縫いをもう一度制作する	
6	型紙補正	シーチングと本布の違いを理解し、型紙を補正する	
7	本布、付属の裁断	表地を裁断し、そこから各パーツ、裏地を裁断する	
8	本縫い	ジャケット、パンツの本縫いをする	
成績評価の目安と方法			
各テーマごとの理解、全体的な洋服の仕上がり			
評価	成績評価別の到達度		
A	紳士服制作の過程を良く理解し、的確な縫製ができる。		
B	紳士服制作の過程を理解し、効率良く縫製ができる。		
C	紳士服制作の過程を理解し、縫製ができる。		
D	紳士服制作の過程を理解と縫製技術が不足している。		

## ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーの紹介

本校では、2年間の学習の到達目標として「ディプロマ・ポリシー」、その実現ための教育内容の編成、実施の方針として「カリキュラム・ポリシー」を設定しています。学生の皆さんは所属学科の目標を意識して日々の学習に取り組んでください。

### アパレルプロフェッショナル科

#### ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標）

- DP1: ファッションの専門的知識を理解し他者とのコミュニケーションツールとして使用する力を身につけている。
- DP2: ファッション表現をするための技能を習得し、それを駆使してオリジナルのファッションを表現することができる。
- DP3: 変遷するファッショントレンドに順応し、柔軟性を持った思考で判断する力を身につけている。
- DP4: ファッション産業の業務を行う為に組織の一員としての考えと行動で他者と協力し、仕事を進めていく力を身につけている。
- DP5: 目的達成のために困難に負けない心身の力を身につけている。
- DP6: ファッションを通して喜びや快適さを他者に伝えていく思考と行動ができる。

#### カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

1年次はファッション表現の服作りの基礎となる縫製とパターン製作技術を学び、ベーシックなアイテムの製作が出来る技術を身につけます。デザイン面においてはデザインテーマの設定からデザインへの落とし込みを学び、オリジナルのデザインを創造する力を身につけます。そして、身につけた力で作り上げた作品はプレゼンテーションで他者が共感し、ファッションとして認知させるところまで連動した学習をします。

2年次では複合的なカリキュラムで製作した作品を発表し評価を受け、実用的なファッション表現を習得します。



## ファッションスタイリング科

### ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標）

- DP1: ファッションの専門的知識を理解し他者とのコミュニケーションツールとして使用する力を身につけている。
- DP2: ファッション表現をするための技能を習得し、それを駆使してトータルコーディネートでのファッションを表現することができる。
- DP3: 変遷するファッショントレンドに順応し、柔軟性を持った思考で判断する力を身につけている。
- DP4: ファッション産業の業務を行う為に組織の一員としての考えと行動で他者と協力し、仕事を進めていく力を身につけている。
- DP5: 目的達成のために困難に負けない心身の力を身につけている。
- DP6: ファッションを通して喜びや快適さを他者に伝えていく思考と行動ができる。

### カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

1年次は服についての知識習得としてトップスとボトムスのパターンと縫製工程、素材、色、ベーシックなアパレルアイテムについての知識を習得します。

ビジネス実務としては社会人マナー、コミュニケーション、接客方法を習得していきます。

コーディネートにおいてはヘアメイク、小物使いまで含めたトータルコーディネートでの表現を身につけます。そして、作り上げたトータルコーディネートはプレゼンテーションによって他者が共感し、ファッションとして認知を得るところまで連動した学習をします。

2年次では複合的なカリキュラムで製作した作品を発表し評価を受け、トータルコーディネートでのファッション提案力を向上させます。